

令和3年度 磯子区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	区総合調整費	1,000	1,000	500	500	500	500
2	区民満足度向上事業	7,171	7,171	5,446	5,446	1,725	1,725
3	広報・案内事業	5,176	5,093	5,774	5,457	△ 598	△ 364
4	区の魅力創出・発信事業	2,403	2,403	1,794	1,774	609	629
5	環境行動推進事業	4,292	4,292	4,245	4,245	47	47
6	区づくり経営事業	4,003	4,003	1,862	1,862	2,141	2,141
7	商店街にぎわいづくり事業	4,450	4,450	4,170	4,170	280	280
8	バス路線基礎データ調査事業	1,500	1,500	0	0	1,500	1,500
9	まちの美化推進事業	2,215	2,215	2,423	2,423	△ 208	△ 208
10	健民祭応援事業	2,714	2,714	2,700	2,700	14	14
11	自治会町内会振興事業	5,298	5,298	5,331	5,331	△ 33	△ 33
12	磯子まつり事業	4,300	4,300	4,300	4,300	0	0
13	「区民のちから」発揮・活用事業	1,307	1,307	1,307	1,307	0	0
14	国際交流推進事業	1,375	1,375	2,118	2,118	△ 743	△ 743
15	地域の居場所づくり支援事業	2,100	2,100	1,600	1,600	500	500
16	自治会町内会ICT利活用支援事業	4,800	4,800	0	0	4,800	4,800
17	地域と一緒に作る防災・減災事業	6,758	6,758	5,917	5,917	841	841
18	「女性の視点」をいかした地域防災拠点運営支援事業	504	504	647	647	△ 143	△ 143
19	地域・学校防犯力強化事業	1,437	1,360	1,358	1,358	79	2
20	交通安全啓発事業	3,333	3,333	3,636	3,636	△ 303	△ 303
21	災害時要援護者支援事業	1,950	1,950	905	905	1,045	1,045
22	地域防災土のう置場設置事業	1,590	1,590	640	640	950	950
23	災害時安否確認支援事業	725	725	6,168	6,168	△ 5,443	△ 5,443
24	地域文化活性化事業	1,844	1,844	1,059	1,059	785	785
25	区民スポーツ振興事業	1,610	1,610	1,620	1,620	△ 10	△ 10
26	青少年育成活動助成事業	962	962	920	920	42	42

令和3年度 磯子区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書 番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
27	子育て応援事業	4,486	4,486	4,368	4,368	118	118
28	保育園地域子育て事業	795	774	997	973	△ 202	△ 199
29	親子の笑顔サポート事業	3,669	3,669	3,669	3,669	0	0
30	磯子区地域福祉保健計画策定・推進事業	6,899	6,899	10,302	10,302	△ 3,403	△ 3,403
31	区民の健康づくり応援事業	2,100	2,100	2,689	2,689	△ 589	△ 589
32	高齢者みんなで支えるまちづくり事業	1,496	1,496	1,582	1,582	△ 86	△ 86
33	障害者地域生活サポート事業	1,152	1,152	799	799	353	353
34	食と暮らしの安全確保・啓発事業	641	641	813	813	△ 172	△ 172

(様式3-1) 令和3年度事業計画書【自主企画事業費】

[磯子区総務課]

No.	1
-----	---

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	その他	事業開始年度	平成15年度
------	--------	---------	-----	--------	--------

事業名	区総合調整費
-----	--------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,000					1,000
前年度	500					500
増△減	500	0	0	0	0	500

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	500	500	500	予算	事業費	1,000	1,000
決算	メリット+一般財源	500	500	500	決算	一般財源	1,000	1,000
決算	事業費	0	1,242	0	方針に関する決裁種別()			
決算	メリット+一般財源	0	1,242	0	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	区役所業務に係る新たな区民ニーズや予算編成時には把握できない緊急課題等に対応するために、必要な経費を執行します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>区役所業務において、新たな区民ニーズや予算編成時には把握できない緊急課題等が生じる可能性があることから、迅速かつ適切に対応するための予算が必要です。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望		
-------------	------------	--------	--	--

2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「安全・安心なまち」
-------------	------------------------

3 根拠法令・要綱等	なし
------------	----

【実績の推移・今後見込み】					
	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
決算額(千円)	0	1,242	0	2,000	1,000
対応件数	0	2	0	20	10
対応内容	-	地下1・2階電気錠設置	-	感染症防止対策	-

【実施内容】

区民ニーズや緊急課題等に対し、迅速かつ適切な対応を行います。

- 1 区民ニーズや緊急課題等の把握
- 2 解決策の検討
- 3 解決策の迅速かつ適切な対応・事業の実施

【事業費の内訳】					
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	
区民ニーズや緊急課題等への対応	1,000	500	500	緊急的な対応想定が増	
			0		
			0		
			0		
			0		
事業費合計	1,000	500	500		

【根拠とするデータ等】

過去の実績（緊急課題等に対応するための経費のため）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整係
	大野 豊	中川 敦之	小川 孝介

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[磯子区 総務課]
[磯子区 総務課]

No.	2
-----	---

予算区分	区役所総務費 区役所総務費	性質・ 課題区分	区庁舎・区民利用施設環境改善 窓口サービス向上	事業開始年度	平成6年度
------	------------------	-------------	----------------------------	--------	-------

事業名	区民満足度向上事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 該当なし
		中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	7,171					7,171
前年度	5,446					5,446
増△減	1,725	0	0	0	0	1,725

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和4年度		令和5年度	
				事業費	一般財源	事業費	一般財源
予算	3,142	2,936	4,416	5,000	5,000	5,000	5,000
決算	3,142	2,936	4,416	5,000	5,000	5,000	5,000
決算	3,635	2,747	5,050	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年 月 日)			
決算	3,635	2,747	5,050				

事業の概要 (目的)	人権や応対力向上に関する研修を実施するとともに、ワークライフバランスの推進による働きやすい職場環境の提供によって、職員の意識と意欲を高めることで、区民満足度の向上を図ります。また、来庁する区民や日ごろ区民対応を行っている職員から庁舎に対する意見を吸い上げ、来庁者にとって利用しやすい庁舎環境の整備を行います。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	区民の満足度を向上させていくためには、窓口サービスの水準や職員の意欲を更に高めていく必要があります。このためには、来庁者や電話における応対力の向上を図るとともに、職員一人ひとりが正しく人権問題を理解し、意識を高めていく取組が必要です。また、快適でわかりやすい庁舎環境を維持するためのハード面の取組や、職員が働きやすい職場環境づくりも必要となります。 また、2月から3月にかけての税務申告期間においては、さまざまな目的・要件、相談内容を持った来庁者で3階フロアが混雑することから、税金に不慣れな区民に正しい税情報の提供と目的・要件別に適切な窓口の案内等を行うことが必要です。
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「魅力あふれるまち」
3 根拠法令・要綱等	地方自治法及び同法施行令、横浜市人権施策基本指針・人権啓発推進計画、横浜市男女共同参画推進条例、横浜市職員人権啓発研修推進要綱

【実績の推移・今後見込み】	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込
人権啓発研修	39回	48回	40回	41回	41回
応対力向上研修 ※H29までは応対マナー講座	1回	1回	2回	2回	2回
税情報提供・窓口案内 R3～	-	-	-	-	24日

- 【実施内容】
- (1) 区研修事業
 - ア 人権啓発研修の実施
責任職グループ研修と職場研修の実施に加え、区民向けとして人権啓発講演会を開催します。
 - イ 窓口応対力向上研修の実施
外部講師による窓口応対マナー講座等の研修を実施します。
 - ウ その他人材育成にかかる研修（ワークライフバランス研修、新採用・転入職員研修）の実施
 - (2) 窓口外部評価事業
外部委託により実施し、各職場で振り返りを行う等、窓口応対時に役立つ知識を習得します。
 - (3) 区庁舎環境整備事業
区庁舎内のサイン改修、来庁者がより利用しやすい庁舎環境を整備します。
 - (4) 税情報提供・窓口案内事業
税務協力団体の協力により、2月から3月にかけての税務申告期間中、3階フロアで税情報の提供及び窓口案内を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区研修事業	671	846	△ 175	過年度実績に基づく減
窓口外部評価	150	0	150	予算組み替え
区庁舎環境整備事業	6,100	4,600	1,500	改善箇所を増
税情報提供・窓口案内事業	250	0	250	新規
事業費合計	7,171	5,446	1,725	

【根拠とするデータ等】

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度見込
窓口サービス満足度 「満足」及び「やや満足」	95.7	97.2	97.0	94.7	100.0	中止	97.0以上

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大野 豊	係長 金下 友之	庶務係 高本 弘美
--------------------	------------	-------------	--------------

[磯子区 区政推進課]

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成6年度
------	---------	---------	-------	--------	-------

事業名	広報・案内事業
-----	---------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源
		国・県	諸収入		
本年度	5,176		83		5,093
前年度	5,774		317		5,457
増△減	△ 598	0	△ 234	0	△ 364

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	4,583	5,435	6,044
決算 メリット+一般財源	4,378	5,118	5,839
決 算 事業費	4,291	5,171	6,054
決算 メリット+一般財源	4,092	4,966	5,800

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	6,125	4,587
決算 一般財源	5,808	4,504
方針に関する決裁 種別()	有:件名()、日付(年月)	
	無	

事業の概要(目的)	区役所を訪れる区民にとって親しみやすく、利用しやすい区役所を実現するために庁舎案内を行います。また、効果的でわかりやすい情報発信をするために区民生活マップ及び統計白書の配布などの広報をします。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

- ・区役所を訪れる区民が迷うことなく、円滑に手続き等を済ませることができるように、区役所入口で庁舎案内のサービスを実施する必要があります。
- ・新しく磯子区民となった人が早く磯子区での生活に慣れるためには、区内の交通・公共施設・官公署・福祉施設等の情報を提供する必要があります。

地域等の課題等の収集手段 1 日常の窓口対応等

2 運営方針等との関係

3 根拠法令・要綱等 なし

【実績の推移・今後見込み】

1 窓口案内事業

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(見込み)	3年度(見込み)
窓口案内	48,099件	46,389件	41,571件	37,816件	45,000件	45,000件
広報印刷物受入	2,606件	2,538件	2,746件	2,764件	2,760件	2,760件

2 区民生活・バスマップ発行事業 (情報更新のため、バスマップは毎年、区民生活マップは1年半から2年間隔で発行)

発行年月	平成29年3月	平成30年12月	令和3年4月(見込み)	令和3年12月(見込み)	令和4年12月(見込み)
区民生活マップ	15,000部	15,000部	20,000部	-	15,000部
バスマップ		※(3,000部)	3,200部	4,000部	4,000部

※は、都市整備局作成

・配布実績(区民生活マップ)

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(見込み)	3年度(見込み)
転入者向け	3,600	3,200	3,200	3,200	3,000	3,000
窓口配布	1,200	700	900	200	300	300
販売	-	-	-	-	-	-
庁内用等	100	474	323	400	400	400

(バスマップ)

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(見込み)	3年度(見込み)
窓口配布	-	-	-	400	1,000	2,200
区内施設配布	-	-	-	800	800	1,000

3 転入者配布用セット事業

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度(見込み)
封入部数	-	-	-	1,500	3,000	3,000	3,000

4 統計白書発行事業

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度(見込み)
発行部数	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500

5 HP画像作成事業

	元年度	2年度(見込み)	3年度(見込み)
TP閲覧数	207,640	250,000	210,000
画像作成件数	-	-	12

【実施内容】

1 窓口案内事業

来庁者に明るく適確に庁舎案内を行い、区役所への親しみを持ってもらうため実施します。

内容：庁舎1階で来庁者への庁舎案内及び広報配布物の整理・配布。（委託）

時間：平日午前8時45分から午後5時まで。

場所：磯子区役所1階 正面入口内 区民ホール

また、駐車場・フロア案内を作成し、窓口で配布するとともに区HPに掲載します。

2 区民生活・バスマップ発行事業

(1) 区民生活マップ

区民利用施設や磯子区を所管する官公署などをわかりやすく紹介する地図を作成します。（更新は2年毎）

本年度は改定の年ではないため、配布のみ。

A1版 カラー

表面（区民生活マップ） 区のあらまし、公共機関・市民利用施設一覧等

裏面（震災時防災マップ） 磯子区全域図、地域防災拠点、広域避難場所等 ※裏面は総務課所管

配布方法：転入者へは、転入者用配布セット「ようこそ磯子区へ」に同封し、戸籍課で配布します。

転入者以外には、広報相談係窓口で希望者に配布します。

(2) バスマップ

区内のバス停・ルートを紹介する地図を作成します。（更新は毎年）

A3版 カラー

表面 区内主要駅バス停乗り場案内

裏面 バス停・バスルート

3 転入者配布用セット事業

磯子区に転入された方に対して、「区民生活マップ」等をまとめて封入し、戸籍課の窓口で配布します。

封入作業は年に2回、障害者就労施設に委託して行います。（1,500部×2回、令和3年4・10月予定）

4 統計白書発行事業

区民生活に関わりの深い各種統計情報を掲載した「磯子区統計白書」を発行します。

(A5版、50頁程度、1,500部、令和4年1月予定)

5 区HP画像作成事業

各課から掲載依頼のあった事案の区HPトップページの、ブランディングエリア画像を作成し、掲載します。

1件×12か月=12件

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 窓口案内事業	4,160	3,992	168	フロアガイド新規作成のための増
2 区民生活・バスマップ発行事業	272	1,040	△ 768	区民生活マップ隔年毎の発行のための減
3 転入者配布用セット事業	168	285	△ 117	封入する袋の変更のための減
4 統計白書発行事業	457	457	0	
5 区HP画像作成事業	119		119	新規事業のための増
			0	
事業費合計	5,176	5,774	△ 598	

【根拠とするデータ等】

昨年度実績、参考見積等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	佐藤 亜希子	大熊 光子	奈良 愛実

[磯子 区 区政推進 課]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	令和元年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名 区の魅力創出・発信事業	特記事項	中期計画-38の政策	事業評価書番号	該当なし
	中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号	
	中期計画-行政運営	6	1	
	中期計画-財政運営			
	重点事業			
	新規・拡充			
	温暖化対策関連事業			

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源
		国・県	諸収入		
本年度	2,403				2,403
前年度	1,794		20		1,774
増△減	609	0	△ 20	0	629

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費			1,958	予	事業費	2,000	2,000
算	メリット+一般財源			1,958	算	一般財源	2,000	2,000
決	事業費			1,785	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源			1,785	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	磯子の魅力を創出し、区内外へ発信することで、区民の磯子区への関心や愛着を醸成し回遊性を高めるとともに、区外からの誘客を促します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	磯子区には、地域で愛されている食べ物や、磯子ならではの風景、歴史など、様々な魅力資源が数多く存在します。また、地域で親しまれている魅力資源(まちの歴史的資産や水・緑等の自然)に関する活動を行っている方や団体等が多く見られます。こういった貴重な区の魅力資源の継続的な掘り起しや、その支援・情報発信を行っていくことで、区民の区への愛着の醸成を図るとともに、区民の回遊性や区外からの誘客を促進し、地域の活力向上や地域経済の活性化を図る必要があります。		
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「魅力にあふれるまち」		
3 根拠法令・要綱等	堀割川魅力づくり活動補助金交付要綱		

【実績の推移・今後見込み】				
細目事業名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
磯子区の魅力発信		パンフレット作成・発信	HP作成・発信	発信
企業等連携推進事業		工場見学会 —(実施できず)	工場見学会	工場見学会
堀割川の魅力づくり活動支援	活動支援	活動支援	活動支援	活動支援
媒体管理	管理	媒体の改訂・管理	増刷・管理	管理

- 【実施内容】
- 磯子区の魅力発信
区民の区への愛着の醸成を図るとともに、区外の方に磯子区を認知してもらい、興味・関心を持ってもらうため、令和2年度に作成したプロモーションパンフレットを増刷するとともに、パンフレットをベースに、パソコンからもスマートフォンからも閲覧しやすくスタイリッシュなHPを製作し、発信します。
 - 企業等連携推進事業
湾岸部を中心に企業(工場・研究所)が集積している区の特性を生かし、包括連携協定を締結している磯子事業会と連携した工場見学会等の企画を実施し、区内企業のPRや区民の区への愛着の醸成を図ります。
 - 堀割川の魅力づくり活動支援
磯子区の貴重な水辺の一つである堀割川の歴史や魅力について広く区民に関心を持ってもらうため、堀割川の魅力づくりに資する活動団体とイベントや広報活動等を行うことで、魅力あるまちづくりを推進します。(年3回イベント、魅力資源の再発見や勉強会等)
 - 媒体管理
令和元年度に作成した「磯子の逸品」紹介冊子を引き続き配布し、区内外へPRします。

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
磯子区の魅力発信	1,620	1,048	572	事業拡充による増
企業等連携推進事業	163	224	△ 61	
堀割川の魅力づくり活動支援	220	220	0	
媒体管理	400	302	98	
			0	
			0	
事業費合計	2,403	1,794	609	

【根拠とするデータ等】
区内施設来館者数、区民意識調査、過年度実施アンケート結果、区民要望等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	佐藤 亜希子	谷田 広紀	深川 明日香

[磯子区 区政推進課]

Table with 5 columns: 予算区分, 街づくり推進費, 性質・課題区分, 水・緑環境保全, 事業開始年度, 平成16年度

事業名: 環境行動推進事業

特記事項: 中期計画-38の政策, 中期計画-行政運営, 中期計画-財政運営, 重点事業, 新規・拡充, 温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策: 政策番号, 主な施策番号

事業評価: 事業評価書番号, 該当なし

(単位:千円)

Table with 6 columns: 区分, 金額, 財源内訳 (国・県, 諸収入), 一般財源

Table with 6 columns: 歳出, 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度, 令和4年度, 令和5年度

事業の概要 (目的): SDGsの理念に基づき、行政だけでなく区民・事業者・団体等と協働のもと、「横浜市地球温暖化対策実行計画」の目標を達成するため、温暖化防止行動・省エネを推進します。

(説明)

1 地域の課題等
横浜市地球温暖化対策実行計画の目標を達成するためには、温室効果ガスの排出量が多い各家庭での取組が重要となります。そのため区が自律的、自主的に温暖化対策行動の普及啓発に取り組む必要があります。

地域の課題等の収集手段: 1 日常の窓口対応等, 6 区民要望, 7 関係団体からの要望

2 運営方針等との関係: 令和2年度磯子区運営方針「魅力あふれるまち」
3 根拠法令・要綱等: 磯子区環境行動推進本部設置要綱、地球温暖化対策の推進に係る法律、横浜市地球温暖化対策実行計画

【実績の推移・今後見込み】

- 1 環境行動推進本部運営事業
23年度に、ヨコハマ3R夢プラン、横浜市地球温暖化対策実行計画が新たに策定され、「ヨコハマクリーン磯子推進本部」と「磯子区脱温暖化行動推進本部」を統合し、温暖化対策行動やごみの削減、抑制等をより一体的に推進できる体制へ移行しました。
2 いそごECCOアクション事業

いそご子どもエコフェスタ実施状況, グリーンカーテン苗配付施設数

※令和2年度は開催方法を変更して実施

- 3 磯子のまち花いっぱい事業 (ガーデンネックレス関連事業)
区民の皆様の緑や花に対する関心を高めるため、緑化整備や種の配付など、継続的に緑化の取組を行います。
(1) 花苗供給・維持管理委託

Table with 6 columns: 実施回数, 花苗供給, 維持管理, 平成30年度, 令和元年度, 令和2年度 (見込み), 令和3年度 (見込み)

【実施内容】

- 1 環境行動推進本部運営事業
本部を組織する区内の各団体による総会を開催し、環境行動目標の策定や情報共有を図ります。
2 いそごECCOアクション事業
(1) 環境行動啓発イベント
環境行動への意識啓発や関心を促す機会とするために、いそご子どもエコフェスタを開催します。
(2) グリーンカーテン普及啓発事業
区内の保育園や学校、公共施設において壁面緑化の実施を支援します。また、実施の様子の、各施設ホームページへの掲載を促し、グリーンカーテンの普及活動を推進します。

3 磯子のまち花いっぱい事業（ガーデンネックレス関連事業）

(1) 花の種配布等事業

区民向けに花の種を配付し、自宅の玄関先や集合住宅のエントランスに蒔くなど、まちなかの景観向上を推進します。

(2) 花と緑の維持管理

磯子区総合庁舎前に設置している花時計の維持管理を行います。また、区内主要駅前等の緑化を、委託及び地域との協働により実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
いそごE C Oアクション事業	1,150	1,166	△ 16	
磯子のまち花いっぱい事業	3,142	3,079	63	実績に基づく増
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	4,292	4,245	47	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	佐藤 亜希子	谷田 広紀	前田 柊

[磯子 区 区政推進 課]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成6年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名	区づくり経営事業
-----	----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,003					4,003
前年度	1,862					1,862
増△減	2,141	0	0	0	0	2,141

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算				予算		
事業費	5,450	2,030	3,710	事業費	2,973	4,003
メリット+一般財源	5,450	2,030	3,710	一般財源	2,973	4,003
決算						
事業費	4,855	1,457	3,365			
メリット+一般財源	4,855	1,457	3,365			

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	区民ニーズを踏まえ、区の行政運営を効果的・効率的に推進するため、主要事業の企画・進行管理、区内事業の総合調整及び各種事業の評価・検証、区民ニーズの調査等を実施します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	区民意識調査や窓口対応等を通じて把握した区民ニーズを踏まえて地域とともに様々な課題を解決していくため、運営方針の策定・推進をはじめとする区内施策・事業の総合調整を、効果的・機動的に実施する必要があります。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート		
-------------	------------	-----------	--	--

2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「魅力あふれるまち」
-------------	------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例、横浜市民協働条例、区における総合行政の推進に関する規則、磯子区事業評価委員会実施要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

- 1 主要事業の企画・進行管理、総合調整事業（毎年実施）
- 2 区民意識調査事業（隔年実施）
- 3 地区別データ集作成事業（「磯子のABC」を5年に1回発行。次回は令和4年度を予定）

【実施内容】

- 1 主要事業の企画・進行管理、総合調整事業
 - ・区提案反映制度の取りまとめ
 - ・運営方針の策定、公表
 - ・運営方針に掲げている各取組を外部評価していただき、区の行政運営に対する助言を行ってもらうため、外部有識者等で構成する事業評価委員会の開催（3回開催予定）
- 2 区民意識調査事業
 - ・区民意識調査の実施

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
主要事業の企画・進行管理、総合調整事業	1,573	1,862	△ 289	実績に基づく減
区民意識調査事業	2,430	0	2,430	隔年実施による増
地区別データ集作成事業	0	0	0	5年毎の実施
事業費合計	4,003	1,862	2,141	

【根拠とするデータ等】
区民要望等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	佐藤 亜希子	谷田 広紀	林 華奈子

（様式3-1） 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[磯子区 地域振興課]

No. 7

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	商店街振興	事業開始年度	平成24年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	商店街にぎわいづくり事業
-----	--------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
1	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,450					4,450
前年度	4,170					4,170
増△減	280	0	0	0	0	280

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	1,950	2,990	4,190	予算 事業費	4,450	4,450
メリット+一般財源	1,950	2,990	4,190	一般財源	4,450	4,450
決算 事業費	2,979	2,904	4,126	方針に関する決裁 種別()		
メリット+一般財源	2,979	2,904	4,126	有:件名 ()、日付 (年 月)		
(無)						

事業の概要(目的)	磯子区の商店街への支援や、その魅力の発信により、商店街を含めた地域経済・地域コミュニティの活性化を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	商店街は、地域経済の活力の維持や地域コミュニティの核としての役割など、地域において重要性を持つ一方、来街者の減少やお客様の高齢化など、課題も多く抱えています。商店街が抱えている課題を共有し、解消するための支援を積極的に行うことで、磯子区の商店街の「にぎわい」を更に高めていきます。
----------	--

地域の課題等の収集手段	6 区民要望
-------------	--------

2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「魅力あふれるまち」
-------------	------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市中小企業振興基本条例、横浜市商店街の活性化に関する条例
------------	--------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

<磯子区商店街連合会加盟商店街数15、店舗数357>
 根岸橋通り商和会(14店舗)、岩瀬商店街(14店舗)、岡村共栄会(14店舗)、磯子商店街商業(協)(17店舗)、汐見台中央商店会(15店舗)、白旗商店街(6店舗)、杉田駅前商店会(30店舗)、プララ杉田専門店会(50店舗)、杉田商店街(84店舗)、聖天橋センター(7店舗)、らびすた新杉田テナント会(23店舗)、杉田十日会商店街(29店舗)、洋光台駅前商店街サンモール(29店舗)、洋光台ショップ27店会(20店舗)、洋南協栄会(5店舗)

区商連加盟店舗数	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(見込)
	14	14	14	14	15	15	15	15	15	15	15
参加店数	419	405	391	383	377	377	382	372	357	357	357

【実施内容】

- 区役所や地元イベント等を利用した「商店街朝市」について、磯子区商店街連合会と連携し実施します。
- 商店街を紹介する「いそご商店街MAP」を更新・印刷し、商店街や区役所窓口、イベント等で配布することで、年間を通じて商店街の情報・魅力を発信します。
- コロナ禍においても磯子区商店街の魅力を発信できるよう、商店街の店舗参加型のイベントを実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
商店街朝市	1,050	970	80	感染症対策物品購入による増
商店街マップ更新・印刷	1,200	1,200	0	
商店街魅力発信イベント	2,200	2,000	200	
事業費合計	4,450	4,170	280	

【根拠とするデータ等】

商店街及び店舗数、商店街朝市来場者数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	大蔭 直子	根本 一弘	高橋 愛子

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[磯子 区 区政推進 課]

No.	8
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	令和3年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名	バス路線基礎データ調査事業
-----	---------------

特記事項	<input type="checkbox"/> 中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input checked="" type="checkbox"/> 新規・拡充 <input type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	---

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源
		国・県	諸収入		
本年度	1,500	0	0		1,500
前年度	0	0	0		0
増△減	1,500	0	0		1,500

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費			
決算 メリット+一般財源			
予算 事業費			
決算 メリット+一般財源			

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	0	0
決算 一般財源	0	0
方針に関する決裁 種別()		
有:件名 ()、日付 (年 月)		
無		

事業の概要(目的)	磯子区内のバス路線の基礎的な情報を収集、整理し、路線バス事業の現状を区民にお知らせします。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	利用者の減少や運転手不足に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により、減便、廃止等などの影響が出ています。一方で、区民からは、路線バスの増便、新設など利便性の向上を求める声が寄せられて、路線バス事業を取り巻く状況と区民のニーズに大きな隔たりができています。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等	2 陳情	7 関係団体からの要望	8 その他
-------------	------------	------	-------------	-------

2 運営方針等との関係	
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】				
細目事業名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
バス路線基礎データ調査			調査委託	
広報事業			チラシ作成、印刷	

【実施内容】	
1	バス路線基礎データ調査 区内バス路線の系統数や便数等の基礎情報を収集、整理します。
2	広報作成、印刷 基礎情報を基に、路線バス事業の現状を区民にお知らせする広報活動を実施します。

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
バス路線基礎データ調査		0		新規事業実施による増
広報事業		0		新規事業実施による増
事業費合計	1,500	0	1,500	

【根拠とするデータ等】	
区民要望等	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 佐藤 亜希子	係長 安藤 文裕	まちづくり調整担当 石浦 朱
--------------------	--------------	-------------	-------------------

(様式3-1) 令和3年度事業計画書【自主企画事業費】

[磯子区 地域振興課]

No.	9
-----	---

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成16年度
------	-----------	---------	------	--------	--------

事業名
まちの美化推進事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	6
12	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,215					2,215
前年度	2,423					2,423
増△減	△ 208	0	0	0	0	△ 208

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,932	2,053	2,353	予算	事業費	2,215	2,215
	メリット+一般財源	1,932	2,053	2,353		一般財源	2,215	2,215
決算	事業費	2,166	1,973	2,352	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	2,166	1,973	2,352				

事業の概要(目的)	区民・事業者・団体・行政の協働のもと、「一般廃棄物処理基本計画(ヨコハマ3R夢プラン)」の目標を達成するため、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。
-----------	--

(説明)				
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ削減のため、3Rの中でとりわけ環境にやさしいリデュース(発生抑制)を中心に、更なる啓発が必要です。 ・集積場に分別状況が悪いごみ袋が排出されていますので、ごみと資源の分別について、引き続き啓発に取り組む必要があります。 ・たばこの吸い殻などが歩道に依然として見受けられますので、引き続き清掃活動及び啓発に取り組む必要があります。 			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望	
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「魅力あふれるまち」			
3 根拠法令・要綱等	横浜市一般廃棄物処理基本計画、磯子区環境行動推進功労者・功労団体表彰要領、横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止に関する条例、同施行規則等、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、磯子区3R応援隊活動助成金交付要綱			

【実績の推移・今後見込み】

- 1 ヨコハマ3R夢アップ推進事業
 ごみと資源物の総排出量を横浜市全体で2021年度までに2017年度比で3%以上(約3万トン)削減。
 なお、短期目標として令和2年度については、2017年度比で2%以上(約2万トン)の削減としました。
 令和2年度の磯子区の削減目標については、2017年度のごみと資源物の総排出量38,093トンに対して、2.2%削減した、37,265トンとしました。

横浜市	基準値		目標値	
	2017年度	2020年度	2021年度	
	-	2%以上	3%以上	
	121万ト	118万ト	117万ト	

磯子区	基準値		目標値	
	2017年度	2020年度		
	-	2.2%		
	38,093トン	37,265トン		

【実施内容】

1 ヨコハマ3R夢アップ推進事業

(1) 啓発活動

新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない場合には、ホームページや広報誌を活用した啓発を行う他、区民のプラスチック問題に係る意識を高めるため、自治会町内会に啓発用DVDを配付します。
また、収束した場合には、地域のイベントや区民利用施設と連携したイベント等、様々な機会を活用して、環境事業推進委員、磯子区3R応援隊等と協働した3R夢プランの啓発を行います。

(2) 環境教室等の実施

未就学児や小学生までの環境に対する意識を醸成させるため、会場や人数の調整等感染症対策を行い、環境教室や環境施設見学会、リサイクル工作教室を実施します。
また、ごみと資源物について授業で学ぶ4年生を対象に、焼却工場等を紹介した啓発DVDを配付します。

(3) 功労者表彰

永年にわたって清掃活動等に貢献された地域の功労者（団体）を表彰します。

(4) 不法投棄防止対策

不法投棄の防止対策の実施及びごみ等の不法投棄を早期に処理します。

2 駅周辺清掃事業

(1) 磯子駅周辺で、交通事業者や周辺事業者の協力による清掃活動の実施

(2) 美化意識向上のきっかけ作りとして、ごみ拾いとスポーツを掛け合わせた「スポGOMI」を感染症対策を行い実施

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ヨコハマ3R夢アップ推進事業	1,809	2,067	△ 258	ごみ袋の在庫活用による減
駅周辺清掃事業	406	356	50	2年度契約に基づく増
事業費合計	2,215	2,423	△ 208	

【根拠とするデータ等】

ごみと資源物の排出量

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化推進担当
	三友 健司	松田 英昭	宮川 由理香

[磯子区 地域振興課]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成22年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名 健民祭応援事業	特記事項	中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号	事業評価書番号	該当なし
	中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	33	1			

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,714					2,714
前年度	2,700					2,700
増△減	14	0	0	0	0	14

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,393	2,700	2,700	予算	事業費	2,714	2,714
	メリット+一般財源	2,393	2,700	2,700		一般財源	2,714	2,714
決算	事業費	2,393	2,532	2,185	方針に関する決裁種別()			
	メリット+一般財源	2,393	2,532	2,185	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	地区連合町内会(9地区)ごとに実施する「健民祭」に補助金を交付し、地域の“きずな”づくりを支援します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	地域で発生する課題は多様化・複雑化しており、様々な担いが協働で解決に取り組むことが必要となっています。住民が自ら地域課題解決に取り組むケースも有りますが、全般的には、自治会・町内会など各種活動団体の担い手不足、活動場所や資金確保の困難、他団体との更なる連携が不十分などの課題があります。地域の声を聞きながら、各地域に適した形での地域支援を行う必要があります。
地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度 4 地区懇談会 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「魅力あふれるまち」
3 根拠法令・要綱等	磯子区健民祭事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

健民祭来場者数					
28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	令和3年度見込
9,997	9,740	9,472	6,509	500	10,000

※令和元年度は台風の影響により9地区中、2地区は中止、1地区は規模を大幅に縮小して開催しました。
 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により9地区中7地区は中止、2地区は規模と内容を大幅に縮小して開催しました。

【実施内容】

- 磯子区健民祭事業補助金交付
各地区連合町内会単位で開催する健民祭事業へ補助金を交付します。また、上記に加え新型コロナウイルス感染症対策物品の配付を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
磯子区健民祭事業補助金交付	2,714	2,700	14	新型コロナウイルス感染症対策物品購入による増
事業費合計	2,714	2,700	14	

【根拠とするデータ等】
 健民祭事業補助金は予定通り開催された直近3回分の平均参加人数と予算額を元に積算を行っています。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大蔭 直子	係長 中鉢 祐樹	地域活動係 松村 雄一郎
--------------------	-------------	-------------	-----------------

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名 自治会町内会振興事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 33 主な施策番号 1	事業評価 書番号	該当なし
	中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,298					5,298
前年度	5,331					5,331
増△減	△ 33	0	0	0	0	△ 33

歳出	事業費	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
		メリット＋一般財源	3,215	4,260		4,305	予 算
事業費	2,749	4,367	3,472	算	一般財源	4,798	4,798
メリット＋一般財源	2,749	4,367	3,472		方針に関する決裁 種別() 有:件名 ()、日付 (年 月) 無		

事業の概要 (目的)	自治会町内会への加入促進、活動の負担軽減等、地域の振興に寄与する取組を進めます。また、地域の絆づくりに尽力してきた自治会町内会長等に感謝の意を表すとともに、行政と地域との信頼関係を深めます。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	自治会町内会は、地域課題の解決を果たす中心的な団体ですが、加入率の低下や役員のなり手不足などの問題を抱えています。区としては、自治会町内会が自らの活動を知り、その活動が充実し円滑に行われることが解決の一つと考え、それらに対して支援を行います。
----------	---

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望	1 日常の窓口対応等
-------------	-------------	------------

2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「魅力あふれるまち」
-------------	------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例、磯子区自治会町内会長永年在職者表彰要綱、磯子区自治会町内会役員等表彰要綱、磯子区自治会町内会掲示板設置等補助金交付要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】
横浜市磯子区連合町内会長定例会（以下「区連会」、毎月1回、8月と12月は休会）、自治会町内会長感謝会（3月）、自治会町内会役員等感謝状贈呈（6月～7月頃）、広報作成・会計講習会の開催（7月～9月頃）、区文書等配送（区連会定例会開催日）、その他自治会町内会からの相談及び事務連絡（随時）、地域のイベント対応（随時）、加入促進対策（通年）

【実施内容】
1. 自治会町内会支援事業
(1) 活動案内のパンフレットや加入申込書の配布（区内転入者用資料「ようこそ磯子区へ」へ封入、区内宅建業協会登録会社カウンター、資源循環局磯子事務所カウンターにて配布）及び、加入申込書多言語版の地域振興課窓口での配布
(2) 自治会・町内会に加入していない集合住宅等に対して、設立の案内や加入促進を行います。
(3) 自治会町内会の会計・広報について、担当者に向けて講習会を行います。
(4) 自治会町内会向けに磯子区独自の会計システムを提供し、担当者の負担軽減を図ります。
(5) 区連会への参加、自治会町内会長交流研修会に協力、その他相談受付及び事務連絡、地域イベント対応
(6) 区連会の資料について、自治会町内会に配送を行い、負担軽減を図る（毎月1回、8月12月を除く）
2. 自治会町内会長感謝会
本市の行政施策の遂行に永年協力をいただいている会長を対象に永年在職者の表彰を行います。
3. 自治会町内会役員表彰
自治会町内会の組織運営に永年携わり、区政運営に協力をいただいた自治会町内会役員等を対象に感謝状を贈呈
対象者：①10年以上在職している副会長 ②5年以上在職し、前年度退任された自治会町内会役員等
③20年以上在職している自治会町内会役員等
4. 掲示板設置等補助事業
自治会町内会が維持・管理する掲示板について、広報を推進する目的で、掲示板の新設等に要する経費を補助します。

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
自治会町内会支援事業	2,686	3,221	△ 535	
自治会町内会長感謝会	1,163	1,161	2	
自治会町内会役員表彰	49	49	0	
掲示板設置等支援事業	1,400	900	500	令和2年度実績に基づく増
事業費合計	5,298	5,331	△ 33	

【根拠とするデータ等】
令和元年度事業実施の実績などに基づく積算・自治会町内会数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大藤 直子	係長 根本 一弘	地域活動係 坂本 太郎
--------------------	-------------	-------------	----------------

[磯子区 地域振興 課]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名 磯子まつり事業	特記事項	中期計画-38の政策	○	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	33 1	事業評価 書番号	該当なし
	中期計画-行政運営					事業評価 書番号	
	中期計画-財政運営						
	重点事業						
	新規・拡充						
	温暖化対策関連事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,300					4,300
前年度	4,300					4,300
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	7,000	4,200	4,300	予	事業費	4,300	4,300
算	メリット+一般財源	7,000	4,200	4,300	算	一般財源	4,300	4,300
決	事業費	8,489	4,200	4,300	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	8,489	4,200	4,300	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要 (目的)	区民・区内活動団体・区内企業が主体となって磯子まつりを開催します。それにより、磯子区の賑わいや活性化が図られ、区民の連帯意識を高めるとともに、地域コミュニティの醸成に寄与します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	区民の故郷意識や一体感を醸成する場として、「新旧住民の連帯意識を涵養(かんよう)し、企業と住民の融和を図る」ことを目的に開催されました。平成21年度からは、区民・区内活動団体・区内企業が主体となって実施する区民まつりとなっています。このことにより、区民等の活動が活性化し、地域コミュニティの醸成に寄与します。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
-------------	------------	------	-----------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「魅力にあふれるまち」
-------------	-------------------------

3 根拠法令・要綱等	磯子まつり補助金交付要綱
------------	--------------

【実績の推移・今後見込み】

磯子まつり来場者数	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
目標	10,000	15,000	16,000	16,000	45,000	50,000	53,000	56,000	35,000	35,000	35,000	35,000
実績	12,000	15,000	18,000	45,000	50,000	53,000	54,000	59,000	32,000	35,000		-

※令和2年度の磯子まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。
 ※令和3年度の磯子まつりは、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、実施内容を変更する場合があります。

【実施内容】

磯子まつりの来場者数、参加層の拡大を図るため、次のとおり実施します。

- 1 出店やステージ等のイベント
区民、区内の地域団体及び企業が参加することで、より多くの区民が参加できる場を提供し、地域の魅力作りを図ることを目的に実施します。
- 2 広報活動
広報よこはま区版、磯子まつり公式ホームページなどにより、磯子まつりに係る広報活動をします。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
磯子まつり補助金	4,300	4,300	0	
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	4,300	4,300	0	

【根拠とするデータ等】

磯子まつりの来場者数、出店団体数、出演団体数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	大藤 直子	根本 一弘	野口 遥

[磯子 区 地域振興 課]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成19年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名
「区民のちから」発揮・活用事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	1, 2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,307					1,307
前年度	1,307					1,307
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	1,072	1,214	1,219
算 メリット+一般財源	1,072	1,080	1,219
決算 事業費	1,046	1,161	1,151
算 メリット+一般財源	1,046	1,161	1,151

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	1,307	1,307
算 一般財源	1,307	1,307

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	区民が新たに地域活動に参加する機会を設けるとともに、活動中の団体への支援や、団体・区民・施設間の交流を深め、「区民のちから」が十分に発揮される地域社会を形成します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	団塊の世代を対象とした地域活動参加のきっかけづくりの講座参加者から、「定年退職後家に閉じこもっていた。このような機会があるとありがたい」といった声が寄せられています。いそご区民活動支援センターを利用する活動団体から、「団体の活動に参加する担い手や、リーダーの後継者が不足している」といった声が寄せられています。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	8 その他
-------------	------------	-------

2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「魅力にあふれるまち」
-------------	-------------------------

3 根拠法令・要綱等	磯子区市民活動・生涯学習支援センター事業実施要綱、磯子区市民活動・生涯学習支援センター事業事務取扱要領
------------	---

【実績の推移・今後見込み】													
1 いそご区民活動支援センター相談件数													
	<table border="1"> <tr> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度見込</th> </tr> <tr> <td>1,761</td> <td>2,210</td> <td>2,083</td> <td>1,701</td> <td>2,100</td> <td>2,100</td> </tr> </table>	28年度	29年度	30年度	元年度	令和2年度	令和3年度見込	1,761	2,210	2,083	1,701	2,100	2,100
28年度	29年度	30年度	元年度	令和2年度	令和3年度見込								
1,761	2,210	2,083	1,701	2,100	2,100								
2 いそご区民活動支援センター登録団体数													
	<table border="1"> <tr> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度見込</th> </tr> <tr> <td>154</td> <td>174</td> <td>188</td> <td>208</td> <td>230</td> <td>230</td> </tr> </table>	28年度	29年度	30年度	元年度	令和2年度	令和3年度見込	154	174	188	208	230	230
28年度	29年度	30年度	元年度	令和2年度	令和3年度見込								
154	174	188	208	230	230								
3 いそご区民活動支援センター登録「地域ボランティア講師」数													
	<table border="1"> <tr> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度見込</th> </tr> <tr> <td>162</td> <td>172</td> <td>151</td> <td>196</td> <td>170</td> <td>170</td> </tr> </table>	28年度	29年度	30年度	元年度	令和2年度	令和3年度見込	162	172	151	196	170	170
28年度	29年度	30年度	元年度	令和2年度	令和3年度見込								
162	172	151	196	170	170								
4 いそご区民活動支援センター実施講座への参加者数													
	<table border="1"> <tr> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度見込</th> </tr> <tr> <td>101</td> <td>126</td> <td>56</td> <td>99</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </table>	28年度	29年度	30年度	元年度	令和2年度	令和3年度見込	101	126	56	99	100	100
28年度	29年度	30年度	元年度	令和2年度	令和3年度見込								
101	126	56	99	100	100								

※ 2年に一度(偶数年)登録更新
(既登録者に対し登録継続の意思を確認)

【実施内容】	
1 活動参加促進事業	
(1) 担い手育成講座・入門編	「地域デビュー講座」として、親しみやすいテーマの講座を開催し、参加者による自主活動グループを育成します。
(2) ボランティア応援隊事業	団体の活動現場を訪問し、活動の見学・体験を行うとともに、活動上の課題や悩みについてヒアリングを行い、情報紙「いそつな」で団体紹介記事として掲載するほか、ヒアリングで得た意見や課題をもとに担い手講座・入門編の企画・運営・事後フォローを行う「ボランティア応援隊」を区民から公募し、支援センターとの協働で活動を行います。

2 運営支援事業

(1) 担い手育成講座・スキルアップ編

すでに活動している団体を対象に、広報・人材育成・会計など、団体運営に役立つテーマの講座を開催します。

(2) 交流会等

さまざまな分野の団体会し、情報交換・交流を行う「団体・グループ交流会」を、年2回開催します。

(3) いそご地域活動フォーラム

団体の活動紹介パネル展示、音楽演奏やものづくり体験等による活動発表、地域に目を向け他団体・施設と「つながり」を育むきっかけとなるワークショップ等を行う「いそご地域活動フォーラム」を開催します。開催にあたっては、コロナ感染防止対策として、発表の場と体験の場の分離を検討します。

(4) スペース・機材の提供

打合せ等に利用できるスペースや、チラシ・資料の作成等の作業を支援する機材を提供します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 活動参加促進事業	371	371	0	
2 運営支援事業	936	936	0	
事業費合計	1,307	1,307	0	

【根拠とするデータ等】

市民活動・生涯学習支援センター設備・機材等利用件数統計月報

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	大蔭 直子	石橋 雅昭	小野 信一郎

[磯子 区 地域振興 課]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	国際交流	事業開始年度	令和2年度
------	-----------	---------	------	--------	-------

事業名 国際交流推進事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号 4 5	事業評価 書番号 該当なし 事業評価 書番号
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,375					1,375
前年度	2,118					2,118
増△減	△ 743	0	0	0	0	△ 743

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費				予算 事業費	1,228	1,228
メリット+一般財源				一般財源	1,228	1,228
決算 事業費				方針に関する決裁 種別() 有:件名()、目付(年月) 無		
決算 メリット+一般財源						

事業の概要 (目的)	磯子区で暮らす外国人住民にとって住みやすい環境づくりを目指し、多言語による生活相談や通訳・翻訳業務を通してサポートするとともに、地域で活躍する日本語教室の支援を行います。
---------------	---

(説明)	
1 地域の課題等	区内には、約5,000人の在住外国人がいます。中には、言語が壁となり、生活の基本的な情報が欠如して生活に困難をきたしている例や、地域とトラブルが発生している例もあります。言語支援を必要とする外国人に対し、多言語での基本的な生活情報提供や個別相談などでの対応をはかり、磯子区に住む外国人が安心して暮らせる環境づくりに取り組む必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 8 その他
2 運営方針等との関係	令和2年度運営方針「ともに支えあう、暮らしやすいまち」
3 根拠法令・要綱等	横浜市国際交流ラウンジの設置及び運営に関する指針

【実績の推移・今後見込み】

1 外国人人口推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込
人数	4,028人	4,332人	4,800人	5,172人	5,500人	5,800人

2 国際交流コーナー相談件数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込
相談日数	146日	143日	144日	243日	-	-
相談件数	149件	193件	276件	339件	-	-

※令和2年度は、国際交流コーナー運営委員会との調整結果として、年度内再開に至らず
 ※令和3年度以降については、国際交流ラウンジ整備を目指す予定あり (R3区提案反映制度提案済)

3 国際交流イベント実施回数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込
回数	5	5	1	2	-	1
人数	203人	326人	161人	94人	-	80人

※令和2年度は、国際交流コーナーの年度内再開に至らず実施なし

【実施内容】

1 国際交流事業

- 国際交流ラウンジ開設までの代替サービスとして通訳用タブレット端末を以下の課に貸与
 区政推進課(広報相談係)、子ども家庭支援課、生活支援課、地域振興課
- 市内及び区内国際交流団体との連携
- スピーチ大会等、外国人区民の方との交流イベントの実施

2 日本語教室支援事業

- 区内日本語教室への支援
- 区内日本語教室との連携(7団体)

※事業の実施に伴い、新型コロナウイルス感染症対策物品の配付を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 国際交流事業	1,228	1,066	162	ラウンジ開設までの代替サービス実施による増
2 日本語教室支援事業	147	112	35	新型コロナウイルス感染症対策物品購入による増
3 外国人区民に対する窓口サービス向上事業	0	400	△ 400	物品購入済のため減
4 外国人区民に対する子育て支援事業	0	540	△ 540	庁舎に対話型翻訳機導入済のため減
			0	
			0	
事業費合計	1,375	2,118	△ 743	

【根拠とするデータ等】
 横浜市区別外国人人口(住民基本台帳より)、磯子区国際交流コーナー業務日誌

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大蔭 直子	係長 中鉢 祐樹	地域活動係 小野 信一郎
--------------------	-------------	-------------	-----------------

[磯子区 区政推進課]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	令和元年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名
地域の居場所づくり支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,100					2,100
前年度	1,600					1,600
増△減	500	0	0	0	0	500

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費			1,600	算	事業費	2,600	2,600
	メリット+一般財源			1,600		一般財源	2,600	2,600
決算	事業費			0	算	方針に関する決裁 種別()		
	メリット+一般財源			0		右:件名()、日付(年月)		

事業の概要(目的)	地域交流の場や地域の居場所づくりを進める事業に対して補助金を交付することで、地域の活性化に向けた取組を支援します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	高齢化に伴う独り暮らし高齢者の増加や、様々な地域活動の担い手不足といった問題は磯子区においても顕在化しており、これらの改善のためにも地域活動への参加者数の底上げが必要となっています。このような状況下で、地域住民が気軽に集い交流ができるコミュニティサロンのような拠点(居場所)は、地域交流や見守りの場として有効であるとともに、そのような取組を自主的に進める地域団体等への支援が必要であると考えられます。
地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度 4 地区懇談会
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」
3 根拠法令・要綱等	磯子区地域の居場所づくり支援補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

- ・R2年度交付実績数(見込み)：1団体
- ・R3年度交付実績数(目標)：2団体

【実施内容】

◆補助金の交付

空き家・空き店舗・住居の空き部屋等を活用し地域交流の場や地域の居場所づくり等を進める事業に対して補助金を交付します。

補助対象経費・補助金額

- (1) 新規に居場所を開設し、事業を始めるとき
 - ア 施設の改修等に伴う、設計・改装・修繕その他の工事経費(1,500,000円)
 - イ 事業活動の実施に伴う経費(500,000円)
 - ウ ア、イの実施を前提とする予備調査等の経費(100,000円)
- (2) 既存の居場所で事業を行うとき
 - ア 利用者の安全性や利便性を確保するために必要な改修等に係る経費(300,000円)
 - イ その他、事業の実施にあたり区長が特に必要と認めた経費

補助年数：最大3年
補助事業者：区民を含む複数人で組織される団体

◆広報・関係機関との連携

制度周知や関係機関との連携を行い、区内の居場所づくりへの理解を深めます。

- ・広報よこはまやウェブサイトへの掲載、広報紙「つながる ひろがる」での特集
- ・地域ケアプラザや区社会福祉協議会との情報共有

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
磯子区地域の居場所づくり支援補助金	2,100	1,600	500	継続1団体と新規1団体を見込む
			0	
事業費合計	2,100	1,600	500	

【根拠とするデータ等】
磯子区地域の居場所づくり支援補助金要綱、地域要望等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域力推進担当
	佐藤 亜希子	後藤 弘	井上 わかな

[磯子区 地域振興 課]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	令和3年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名	自治会町内会ICT利活用支援事業
-----	------------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,800					4,800
前年度	0					0
増△減	4,800	0	0	0	0	4,800

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算	事業費			
	メリット+一般財源			
決算	事業費			
	メリット+一般財源			

歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	4,800	4,800
	一般財源	4,800	4,800
		方針に関する決裁 種別()	
		有:件名 ()、日付 (年 月)	
		無	

事業の概要(目的)	自治会町内会(地区連合町内会を含む)の、ICT利活用による事務の効率化や情報伝達の円滑化を目的とし、ICT利活用導入に係る費用の補助やICTに関する出張講座等の実施を行います。
-----------	--

(説明)																															
1 地域の課題等	新型コロナウイルス感染症の影響により、自治会町内会ではこれまでの地域活動のあり方を見直し、オンラインでの会議や活動を実施するなど「新しい生活様式」への対応が必要となっています。しかしながら、そのためのインターネット環境の整備や活用のノウハウが不足している場合が多く見受けられるため、自治会町内会に対し、ICT機器の購入等に係る費用に対する補助事業や、ICTに関する出張講座等を実施します。																														
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等																														
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「魅力あふれるまち」																														
3 根拠法令・要綱等	横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例 磯子区自治会町内会ICT利活用導入補助金交付要綱																														
【実績の推移・今後見込み】																															
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3(見込み)</td> <td colspan="2">(参考：自治会町内会数)</td> </tr> <tr> <td>ICT利活用導入補助事業</td> <td>交付団体数：10</td> <td>R2</td> <td>R3(見込み)</td> </tr> <tr> <td>ICTに関する出張講座等の実施</td> <td>実施回数：20</td> <td>168</td> <td>168</td> </tr> </table>		R3(見込み)	(参考：自治会町内会数)		ICT利活用導入補助事業	交付団体数：10	R2	R3(見込み)	ICTに関する出張講座等の実施	実施回数：20	168	168																		
	R3(見込み)	(参考：自治会町内会数)																													
ICT利活用導入補助事業	交付団体数：10	R2	R3(見込み)																												
ICTに関する出張講座等の実施	実施回数：20	168	168																												
【実施内容】																															
1. ICT利活用導入補助事業 自治会町内会の事務の効率化やオンラインコミュニケーションの支援を行うことを目的に、ICT機器等の導入に対する経費を補助します。																															
2. ICTに関する出張講座等の実施 自治会町内会のICT利活用に関し、出張講座・相談等を実施します。																															
【事業費の内訳】																															
	<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>ICT利活用導入補助事業</td> <td>1,800</td> <td></td> <td>1,800</td> <td>新規実施</td> </tr> <tr> <td>ICTに関する出張講座等の実施</td> <td>3,000</td> <td></td> <td>3,000</td> <td>新規実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>4,800</td> <td>0</td> <td>4,800</td> <td></td> </tr> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	ICT利活用導入補助事業	1,800		1,800	新規実施	ICTに関する出張講座等の実施	3,000		3,000	新規実施				0					0		事業費合計	4,800	0	4,800	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																											
ICT利活用導入補助事業	1,800		1,800	新規実施																											
ICTに関する出張講座等の実施	3,000		3,000	新規実施																											
			0																												
			0																												
事業費合計	4,800	0	4,800																												
【根拠とするデータ等】																															
自治会町内会数																															

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	大蔭 直子	根本 一弘	野口 遥 高橋 愛子

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成15年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名 地域と一緒に作る 防災・減災事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 該当なし
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,758					6,758
前年度	5,917					5,917
増△減	841	0	0	0	0	841

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	7,541	10,271	6,166	予算	事業費	8,509	8,509
	メリット＋一般財源	7,541	10,271	6,166		一般財源	8,509	8,509
決算	事業費	8,794	12,647	11,669	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、目付(年月)			
	メリット＋一般財源	8,794	12,647	11,669	無			

事業の概要 (目的)	市・区防災計画に基づき、大規模災害発生に向けた備えを推進します。
---------------	----------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年の区民意識調査において、「磯子区が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるもの」の第1位が災害対策となるなど、区の災害対策への関心は非常に高いものとなっています。 新型コロナウイルスの感染拡大により、地域防災拠点や風水害時の避難場所においても様々な対策を講じる必要があります。 東日本大震災、熊本地震、全国各地での記録的豪雨といった過去の災害の経験と教訓を踏まえ、震災対策・風水害対策の改善・強化を不断に進めていく必要があります。 各地域防災拠点では配備資機材が多くなり、備蓄庫が手狭になり適切な管理が難しくなっています。 災害時には、地域における「自助」「共助」が非常に重要です。地域で行われる防災訓練や地域防災拠点運営の支援、防災ボランティアへの活動支援、各家庭における自助の取組の啓発・促進など、地域への働きかけの継続的な実施が必要です。 災害時、地域防災拠点等へのペット同行避難が想定されます。飼い主及び地域防災拠点運営委員会に対し、災害時ペット対策の必要性及び日頃の備えについて、啓発・促進を進める必要があります。 災害時に区本部が確実に機能する環境を整え、区本部要員の災害対応の習熟度を高める必要があります。 行政機関のほか、医療機関、鉄道事業者、沿岸事業者、ボランティア団体等と災害時に円滑な連携が取れる体制の整備が必要です。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応	5 区民アンケート	6 区民要望
-------------	-----------	-----------	--------

2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「安全・安心なまち」
-------------	------------------------

3 根拠法令・要綱等	災害対策基本法、土砂災害防止法、水防法、横浜市防災計画、磯子区防災計画
------------	-------------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
防災拠点訓練参加	5,389	6,056	5,684	5,170	4,076	※100	2,000
地域防災訓練参加	4,364	4,042	3,460	3,412	5,086	※630	2,500
小・中学生の参加	1,369	1,926	1,752	1,048	-	-	-

(※2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、数値が大幅に落ち込んでいます)

【実施内容】

- 地域防災訓練等支援事業 (3,465千円) 【総務課】
 - 地域防災拠点の支援

(内容) ・地域防災拠点における感染症の拡大防止のために生活スペースの換気用としてサーキュレーターを各拠点1台、防護服を10枚配備します。

 - 夏場の避難生活において大きな懸念となる暑さを緩和するため、各拠点にスポットクーラーを配備します。
 - 発災時の円滑な拠点運営や、日頃の拠点訓練の充実を図るために運営委員向けの講習会を開催します。
 - 配備資機材の増加で手狭となった備蓄庫の状況を改善するために物置を追加設置します。
 - 地域防災訓練の支援

(内容) 防災ボランティア団体や防災関係機関、地域組織が連携した実践的な防災訓練の実施を支援します。

(時期) [9月]町の防災組織：約50団体、約2,500人 [1月]地域防災拠点：21拠点、約2,000人

- 2 地域の自助・共助啓発事業 (350千円)
- (1) 子育て世代に対する自助・共助の啓発・促進 (300千円) 【総務課】
 (内容) 子育て世代の防災意識の向上や地域防災活動への参画を促すため、ケアプラザなど区内各所でミニ防災講座を開催するとともに、リーフレットを配布し啓発を図ります。
 (時期・回数) ミニ防災講座：適宜・3回程度
 啓発リーフレット印刷及び配布：印刷1,500部、配布適宜
- (2) 大規模地震に備えた自助の啓発 (50千円) 【総務課】
 (内容) 家具転倒防止器具や感震ブレーカー及びトイレパックなど、大規模地震への備えとして大切な自助の啓発を継続して行います。
- 3 災害時ペット対策啓発事業 (305千円) 【生活衛生課・総務課】
 (内容) 日頃から備えておくべきことなど、ペット防災について飼い主へ啓発を行うとともに、拠点運営委員に対し災害時ペット対策への理解を促進し、地域防災拠点等における円滑な運営・体制強化を図
 (方法) 地域防災拠点に配備されている開設キットにペット同行避難対応編を追加(対象：地域防災拠点)
 地域防災拠点でのペット同行避難場所の設置促進(対象：各地域防災拠点運営委員)
 地域防災拠点におけるペット同行避難訓練参加者等に対する非常用持出袋配布(対象：飼い主)
 地域防災拠点訓練等でのパネル展示(対象：区民)
 災害時ペット対策についての講習会(対象：飼い主、各地域防災拠点運営委員)
- 4 防災関連マップ配布事業 (265千円) 【総務課】
 (内容) 区民による自発的な防災・減災活動に繋げていくため、磯子区震災時防災マップ、各種ハザードマップにより啓発します。
 (方法) 各種マップの更新・印刷・配布
- 5 防災ボランティア活動支援事業 (195千円) 【総務課】
 地域に根差した防災活動を行うために、区内の防災ボランティア団体の活動を支援します。
 また、災害時にボランティアがより円滑に活動できるよう災害時用機材の購入等の更なる支援を図ります。
 (内容) 各種会議への参加、防災訓練への参加促進、パネル展等の機会提供、災害時用機材等の購入、応急手当普及員再講習の支援等を実施します。
- 6 区災害対策本部強化事業 (1,348千円) 【総務課】
 (内容) 区本部各班、関係機関(消防署、警察署、水道局)及び防災ボランティア団体と連携した区災害対策本部運営訓練や、職員の災害対応力向上を図る研修を継続して実施します。
 (時期) 区災害対策本部運営訓練：6月、9月、1月(年3回程度) 拠点動員者研修：9、10月
- 7 災害時医療体制整備事業 (830千円) 【福祉保健課・総務課】
 発災時に迅速に医療活動が実施できるように、医療調整班の活動体制の整備を行います。
 (内容) 災害時の医療活動を円滑に行うため、関係機関と連携した訓練を実施します。
 関係機関が情報共有するための連絡会を実施します。
 医療調整班や保健活動グループが活動するための環境を整備します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域防災訓練等支援事業	3,465	2,345	1,120	感染症対策及び備蓄庫拡充による増
地域の自助・共助啓発事業	350	505	△ 155	講演会予算の減
災害時ペット対策啓発事業	305	192	113	開設キット作成のため増
防災関連マップ配布事業	265	720	△ 455	区民生活マップとの統合による減
防災ボランティア活動支援事業	195	215	△ 20	応急手当普及員再講習受講予定者の減
区災害対策本部強化事業	1,348	1,359	△ 11	委託事業の完了による減
災害時医療体制整備事業	830	581	249	チラシの隔年での作成による増
事業費合計	6,758	5,917	841	

【根拠とするデータ等】

横浜市危機管理アンケート(平成30年度)、区民意識調査(令和元年度)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	大野 豊	梅田 直矢	魚住 真人

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	令和元年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名	「女性の視点」をいかした地域防災拠点運営支援事業
-----	--------------------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	6

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	504					504
前年度	647					647
増△減	△ 143	0	0	0	0	△ 143

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費			4,022
メリット+一般財源			4,022
決算			3,442
決算			3,442

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	450	300
一般財源	450	300
方針に関する決裁 種別()		
有:件名()、日付(年月)		
無		

事業の概要(目的)	横浜市中期4か年計画に基づき、女性や子どもが安心して生活できる地域防災拠点運営のための支援を区内21拠点で推進します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>・東日本大震災など過去の震災における避難所の実態からは、衛生面やプライバシーの問題、生活必需品の不足、性被害や児童虐待等により、女性や子どもが心身の健康を害し、厳しい状況におかれた事例が多数報告されています。</p> <p>・東日本大震災後、災害対策基本法とともに改正された国の「防災基本計画」では、地方公共団体は女性や子育て家庭のニーズに配慮した避難所の運営に努めるものとしてされています。これを受け、本市の防災計画や「地域防災拠点開設・運営マニュアル」においても「男女ニーズの違い」に配慮した避難所運営の必要性が明記され、「女性の視点」をいかした防災対策の充実が横浜市中期4か年計画の目標のひとつとして掲げられています。</p> <p>・「女性の視点」をいかし、「女性特有のニーズ」へ配慮するためには、避難所運営の主体である地域防災拠点運営委員会への、女性の参画が必要不可欠です。現在では、女性の運営委員の数はまだ男性と比較して少数であり、今後、女性の参画を推進していくことが特に重要であると考えています。</p> <p>・これまで、地域防災拠点運営委員会に対して、女性や子どものための生活スペースの確保の必要性や、区役所として生活用品等、必要な物資の備蓄拡充等を行ってきましたが、さらに女性や子どもが避難所で安心して生活できるよう、特に防犯面の支援に注力する必要があります。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望
-------------	------------	--------

2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「安全・安心なまち」
-------------	------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市中期4か年計画2018～2021、横浜市防災計画、磯子区防災計画
------------	-------------------------------------

【実績の推移・今後見込み】							
	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込み	令和3年度見込み
防災拠点訓練参加者数	5,389	6,056	5,684	5,170	4,076	※100	2,000
地域防災訓練参加者数	4,364	4,042	3,460	3,412	5,086	※630	2,500

(※令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、数値が大幅に落ち込んでいます)

【実施内容】	
1 女性・乳児にやさしい地域防災拠点運営支援事業 (231千円)	
(内容) 女性や子どもが犯罪被害に遭わないために、トイレ等、1人で行動する際に携帯できる防犯ブザーを配備します。	
(内訳) 防犯ブザー 105個 (1拠点につき5個×21拠点)	
2 乳児のための食料配備 (273千円)	
(内容) 乳児が地域防災拠点で生活を送らなければならない場合に少しでも安心して過ごせるよう、様々な備蓄品が準備されていますが、アレルギー対応粉ミルクについては1年ごと、離乳食セットについては2年ごとに交換が必要なため備蓄品の更新を行います。	
(内訳) アレルギー対応粉ミルク21缶 (1缶850g。約150～200回分)	
離乳食セット945食 (1拠点につき45食×21拠点)	

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
女性・乳児にやさしい 地域防災拠点運営支援	231	563	△ 332	配備品変更による減
妊産婦・乳児のための寝 具・食料配備	273	84	189	配備品更新のため増
事業費合計	504	647	△ 143	

【根拠とするデータ等】

横浜市中期4か年計画2018～2021

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	大野 豊	梅田 直矢	魚住 真人

[磯子 区 地域振興 課]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防犯	事業開始年度	平成17年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名 地域・学校防犯力強化事業	特記事項	中期計画-38の政策	○	中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号	33	5	事業評価書番号	該当なし
	中期計画-行政運営			中期計画-財政運営					事業評価書番号	
	重点事業		○	新規・拡充						
	温暖化対策関連事業									

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,437	77				1,360
前年度	1,358	0				1,358
増△減	79	77				2

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
メリット+一般財源	1,071	951	1,318	一般財源	1,360	1,437
決算	事業費	1,142	778	1,164	方針に関する決裁 種別()	
メリット+一般財源	1,142	778	1,164	有:件名()、目付(年月)		無

事業の概要(目的)	犯罪のない安全で安心なまちを実現するため、地域・学校・警察等と協力し、防犯対策を進めます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	磯子区の犯罪認知件数は市内18区の中でも比較的少ない状況ですが、特殊詐欺の件数は増加しています。また、令和元年度に実施した区民意識調査の結果では「住まいの周辺の生活環境の中で重要度が高いもの」、「磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いもの」として上位に「防犯対策」があげられており、区民のニーズは依然として高いものとなっています。このため、引き続き、自治会町内会をはじめ区民の皆様による主体的な防犯活動や取組を支援し、地域の防犯力の強化を図る必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 6 区民要望 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「安全・安心なまち」
3 根拠法令・要綱等	神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり条例、よこはま安全・安心プラン、磯子区安全・安心まちづくり推進協議会規約

【実績の推移・今後見込み】

年	27年実績	28年実績	29年実績	30年実績	元年実績	2年見込み
刑法認知件数	666	664	569	485	557	557

※犯罪統計資料（神奈川県警）より

【実施内容】

- 防犯活動支援事業
 - 区民による主体的な防犯活動や取組に対する支援
自治会町内会など区民が主体的に行う防犯パトロールなどの活動や取組に対して、支援を行います。
例) 防犯パトロール物品（ベスト、腕章、のぼり旗など）の貸与、特殊詐欺防止機器の貸与、特殊詐欺に係る啓発物品の配布等
 - 地域防犯と学校防犯の連携強化
地域と学校による合同会議等を行い、相互に連携した防犯活動の展開を図ります。
 - 安全・安心メールの配信及び利用促進
区内の犯罪発生情報等を、登録していただいたメールアドレスに配信します。
 - 区内主要駅前での防犯啓発キャンペーンの実施
磯子警察署や防犯協会と合同で、啓発グッズ等を配布し防犯意識の啓発を行います。
- 安全・安心まちづくり推進協議会運営費
磯子警察署や区内の防犯及び交通安全関係機関・団体と連携した活動を進めます。
 - 安全・安心まちづくり推進協議会総会の開催
 - 安全・安心まちづくり推進協議会功労者表彰の実施
- 安全・安心まちづくりポスターコンクール運営費
中学生の防犯、交通安全意識を高めるため、区内中学校在学の生徒を対象に、ポスターコンクールを実施します。（募集：6月から9月上旬）
神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例で定める「安全・安心まちづくり旬間（10/11～10/20）」にあわせて入賞作品を展示し、表彰します。また、最優秀作品をポスターとして印刷し、自治会町内会等に配布します。（10月）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
防犯活動支援事業	1,201	1,122	79	特殊詐欺対策の増
安全・安心まちづくり推進協議会運営費	53	53	0	
安全・安心まちづくりポスターコンクール	183	183	0	
事業費合計	1,437	1,358	79	

【根拠とするデータ等】

犯罪統計資料（神奈川県警）、防犯物品貸与実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大藤 直子	係長 高橋 美和	地域活動係 和田 太郎
--------------------	-------------	-------------	----------------

[磯子区 地域振興 課]

Table with 5 columns: 予算区分 (防犯・防災・安全対策費), 性質・課題区分 (交通安全), 事業開始年度 (平成6年度)

事業名: 交通安全啓発事業

特記事項: 中期計画-38の政策, 中期計画-行政運営, 中期計画-財政運営, 重点事業, 新規・拡充, 温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策: 政策番号, 主な施策番号

事業評価: 書番号, 該当なし

(単位:千円)

Table with 5 columns: 区分, 金額, 財源内訳 (国・県, 諸収入), 一般財源. Rows for 本年度, 前年度, 増△減.

Table with 4 columns: 歳出, 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度. Rows for 予算 (事業費, メリット+一般財源), 決算 (事業費, メリット+一般財源).

事業の概要 (目的): 交通事故から区民を守るため、交通安全の啓発を関係機関、団体と連携して進めます。

(説明)

1 地域の課題等: 磯子区は国道16号線や産業道路、環状2・3号線などの幹線道路がある一方、住宅地の中には幅員の狭い道路が混在して、道路環境は良好とはいえません。そのため、交通安全の問題については、区民の関心が高くなっています。交通事故発生件数は年々減少傾向にあるものの、未だ危険箇所もあり、区民一人ひとり、とりわけ子どもや高齢者の生命を守るために、長期的な視点に立って啓発活動を推進する必要があります。自転車を利用する方も多く、大人への自転車マナーやルールに対する意識啓発も図っていく必要があります。

【実績の推移・今後見込み】: Table with 6 columns: 区分, 29年度, 30年度, 元年度, 2年度(見込み), 3年度(見込み). Rows for 幼稚園保育園交通安全教室, 小学校交通安全教室, 高齢者交通事故防止事業, 交通安全啓発キャンペーン, スクールゾーン交通安全施設整備.

【実施内容】: 1 幼児・児童交通事故防止事業, 2 高齢者交通事故防止事業, 3 一般交通事故防止事業, 4 自転車交通安全啓発事業, 5 スクールゾーン対策事業.

【事業費の内訳】: Table with 5 columns: 細目事業名, 本年度, 前年度, 差引, 説明. Rows for 幼児・児童交通事故防止事業, 高齢者交通事故防止事業, 一般交通事故防止事業, 自転車交通安全啓発事業, スクールゾーン対策事業, 事業費合計.

【根拠とするデータ等】 横浜市市民活動推進条例（平成12年3月横浜市条例第26号）、横浜市補助金等の交付に関する規則（平成17年11月横浜市規則第139号、昨年度実績）

Table with 4 columns: 課長 (大蔭 直子), 係長 (高橋 美和), 地域活動係 (鈴木 真美). Text: 本資料は、公正・適正に作成しました。

[磯子区 総務 福祉保健 高齢・障害支援 課]

予算区分	防災・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成15年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名 災害時要援護者支援事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号 35 6	事業評価 書番号 該当なし 事業評価 書番号
	<input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input checked="" type="checkbox"/> 新規・拡充 <input type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業		

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,950					1,950
前年度	905					905
増△減	1,045	0	0	0	0	1,045

予算	歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和4年度	令和5年度
決算	メリット+一般財源	700	400	5,000	2,470	2,470
決算	事業費	497	124	3,899		
決算	メリット+一般財源	497	124	3,899		

事業の概要 (目的)	災害時に自力での避難等が困難な災害時要援護者の支援等に関する取組を推進します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 過去の大規模な災害では高齢者や障害者の死亡率がその他に比べて高く、災害時要援護者支援の取組強化は急務となっています。 災害時要援護者がいざという時に自分の身を守り、必要に応じて適切な避難を行うためには、地域による共助の取組が不可欠です。各自治会町内会の実情に応じた取組の支援を充実させる必要があります。 災害時に在宅や地域防災拠点での生活が難しい要援護者のための二次的避難場所である26か所の「福祉避難所」が、発災時に円滑に運営されるよう、日頃から備品配備や開設訓練等の支援をしていく必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 6 区民要望
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」
3 根拠法令・要綱等	災害対策基本法、横浜市防災計画、磯子区防災計画

【実績の推移・今後見込み】	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
要援護者支援取組実施率（自治会町内会）	80%	82%	93%	95%	95%
福祉避難所施設数	25	26	26	26	26
キット配布数	2,731	2,469	2,713	3,000	3,000

- 【実施内容】
- 福祉避難所支援事業（1,040千円）
発災時に福祉避難所が円滑に運営出来るよう、福祉避難所に発災時用の消耗品・備品を配備します。
 - 救急医療情報キット配布事業（410千円）
要援護者に対する支援の一環として、いざという時に、家族知人等の連絡先、かかりつけ医・持病・服用薬などの医療情報、健康保険証や診察券の写しなどを容器に入れて自宅に保管しておく「救急医療情報キット」を希望する区民に配布します。
 - 災害時要援護者支援事業（500千円）
既に災害時要援護者支援事業を実施している自治会・町内会等に対して要援護者に対する支援がより円滑に進めることができるようリーフレットの作成及び配布を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
福祉避難所支援事業	1,040	700	340	配備物品の見直しによる増
救急医療キット配布事業	410	205	205	令和2年度実績に基づく増
災害時要援護者支援事業	500	0	500	リーフレット作成による増
事業費合計	1,950	905	1,045	

【根拠とするデータ等】
平成27年度災害時要援護者支援に係る現状把握アンケート

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	事業企画担当
	大山 尚久	栗原 明日香	渡邊 竜也

[磯子 区 土木事務所 課]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	令和2年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名 地域防災土のう置場設置事業	特記事項	中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号	事業評価 書番号	該当なし
	中期計画-行政運営	中期計画-財政運営	重点事業	新規・拡充	事業評価 書番号	
	温暖化対策関連事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,590					1,590
前年度	640					640
増△減	950	0	0	0	0	950

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費				予算	事業費	1,660	1,660
	メリット+一般財源					一般財源	1,660	1,660
決算	事業費				方針に関する決裁 種別()			
決算	メリット+一般財源				有:件名()、日付(年月)			

事業の概要 (目的)	防災土のうステーションの設置や防災土のう講座の開催を通じて、災害に強い安全安心なまちづくりを推進します。
---------------	--

(説明)				
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の区民意識調査において、「磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるもの」の第1位が「災害対策」となるなど、区民の災害対策への関心は非常に高いものとなっています。 東日本大震災、熊本地震、全国各地での記録的豪雨といった過去の災害の経験と教訓をふまえ、震災対策・風水害対策の改善・強化を不断に進めていく必要があります。 一方で地域が高齢化している中で、個々の「土のう」配布希望に対して、土木事務所の対応が困難な状況にあります。 令和元年度に台風や想定を超える豪雨のため区内で多数の浸水が起きたことをふまえ、道路沿道スペース等に土のうステーションを設置し災害時に活用していただきます。 町内会館、公園等で複数の近隣町内会等の方達に集まっていただき「防災土のう講座」を開催、土のうづくりを通じて防災意識の向上と、発災時の地域へのサポートを行います。なお、講座で作成した土のうは会場にて配布し、災害時に役立ててもらいます。 			
地域の課題等の収集手段	2 陳情			
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「安全・安心なまち」			
3 根拠法令・要綱等				
【実績の推移・今後見込み】				
土のうステーション設置	土のうステーションへの土のう補充			
・5箇所(100袋/箇所)	・10箇所(100袋/箇所)			
防災土のう講座				
・2回(100袋/回)				
【実施内容】				
<ul style="list-style-type: none"> 区内5箇所に防災土のうステーションを設置します。また、大雨等の災害時に使用された土のうを補充し、次の災害に備えます。 年2回複数の町内会等に声掛けまたは町内会等からの依頼による「防災土のう講座」を行うべく出向きます。会場は町内会館や公園等とし、作成した土のうは、その後の豪雨等災害時に使用してもらいます。 				
【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
防災土のうステーション設置事業	1,520	570	950	新規土のうステーション設置に伴う増
防災土のう講座事業	70	70	0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,590	640	950	
【根拠とするデータ等】				
区民意識調査				

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	管理・道路係
	石島 隆史	工藤 裕 荒井 正人	小川 瑞貴 只野 薫

[磯子区総務課]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	令和2年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名	災害時安否確認支援事業
-----	-------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	35	6

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	725					725
前年度	6,168					6,168
増△減	△ 5,443	0	0	0	0	△ 5,443

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算				事業費	350	350
決算				一般財源	350	350
決算					方針に関する決裁種別() 有:件名()、日付(年月) (無)	

事業の概要(目的)	市・区防災計画に基づき、大規模災害発生に向けた備えを推進します。
-----------	----------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	<p>・阪神淡路大震災では死因の8割が建物倒壊や家具転倒による圧死・窒息死であることから、要援護者のみならず、日常、自力避難可能者への災害時安否確認や救出が課題となっています。</p> <p>・令和元年度及び2年度に安否確認パンダナを区内全戸に配布しました、今後はこれを活用した安否確認の仕組みを区内各所へどう浸透させていくかが課題となっています。</p> <p>・安否確認パンダナが区内全戸へ、継続して滞りなく配布されるよう周知・啓発を行っていく必要があります。</p>				
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	4 地区懇談会	6 区民要望		
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「安全・安心なまち」				
3 根拠法令・要綱等	災害対策基本法、横浜市防災計画、磯子区防災計画				

【実績の推移・今後見込み】

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
要援護者支援取組実施率(自治会町内会)	80%	85%	93%	95%	95%
安否確認パンダナ配布世帯数	0	0	24,000	60,000	0

【実施内容】

- 災害時安否確認パンダナ活用支援 【725千円】 【総務課】
 - 金物ハトメ入りVPP袋購入 (468千円)
 - パンダナ(元年度作成分)封入作業委託 (187千円)

(内容) 令和元年度作成分の安否確認パンダナについて、VPP袋への封入を行い、2年度作成分と同一の仕様とし梱包を強化します。
 - 安否確認用パンダナ配布個別対応 (70千円)

(内容) 自治会町内会未加入世帯や転入による配布漏れ等に対応します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
災害時安否確認パンダナ活用事業	725	6,168	△ 5,443	パンダナ作成完了による減
			0	
			0	
事業費合計	725	6,168	△ 5,443	

【根拠とするデータ等】

横浜市危機管理アンケート(平成30年度)、区民意識調査(令和元年度)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	大野 豊	梅田 直矢	魚住 真人

[磯子 区 地域振興 課]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	地域文化活性化事業
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
6	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,844					1,844
前年度	1,059					1,059
増△減	785	0	0	0	0	785

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 事業費	3,046	2,238	2,638
算 メリット+一般財源	3,046	2,238	2,638
決 事業費	2,317	1,762	1,662
算 メリット+一般財源	2,317	1,762	1,662

歳出	令和4年度	令和5年度
予 事業費	2,114	2,114
算 一般財源	2,114	2,114
方針に関する決裁 種別()		
有:件名()、日付(年月)		
(無)		

事業の概要(目的)	磯子区内の文化振興の推進を図るために、区民が気軽に音楽や絵画などに親しめるような活動や鑑賞の場が求められています。そのため、地域で文化活動をしている団体への支援及び様々なグループの発表や芸術鑑賞の場をより多く提供することにより、魅力に溢れる環境づくりを進めます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	磯子区の文化振興を図るため、区民が気軽に文化に親しめるよう芸術鑑賞の場の提供や、文化活動をしている団体への支援を行うとともに、若い世代から高齢者までが気軽に文化に触れ交流できる場や、文化活動を行うきっかけづくりの場を提供することが求められています。		
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「魅力あふれるまち」		
3 根拠法令・要綱等	横浜市区民文化センター条例、横浜市区民文化センター条例施行規則、磯子区地域文化振興事業補助金交付要綱		

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	令和3年度見込
地域文化振興事業補助金 交付件数	17	17	18	18	13	18
地域文化振興事業補助金 交付金額	427,400	429,800	452,400	393,999	337,800	475,000
いそご芸術文化祭 来場者数	4,623	4,527	4,441	3,572	1,750	4,000
ISOGOダンスまつり 参加団体数	62	56	60	中止※	開催なし※	60

※令和元年度のISOGOダンスまつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

※令和2年度のISOGOダンスまつりは、会場である磯子公会堂ホールの天井改修工事があり、この機会に開催時期の見直し(3月から10月へ変更)を行ったことから開催はありません。

【実施内容】

- 地域文化振興支援事業
磯子区地域文化振興事業補助金
磯子区文化協会各部が実施する「いそご芸術文化祭」に対して補助を行います。

2 芸術文化ふれあい事業

(1) ISOGOダンスまつり

ア 内容

ストリートダンスのコンテストと発表会、ダンスバトル、ゲスト公演を実施します。

イ 対象

主に小・中・高校生を対象とします。

ウ 時期・場所

令和3年10月に磯子公会堂にて実施予定です。

エ 規模

新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、開催します。

オ 感染症対策及び工夫

- ・前半部・後半部制導入による参加者入替、滞留防止
- ・更衣室、待合スペースの拡充
- ・施設各所へのアルコール配備
- ・観客席の制限（①収容人数の制限、②舞台と観客席間の距離をあけるため前方席使用制限）

※実施にあたっては新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、安全対策を図ります。

(2) 区民ホールギャラリー

年間を通して約50団体に展示場所として区民ホールギャラリーを提供します。

(3) 読書活動推進事業

ア 読書活動の推進を目的とした講演会を実施します。

イ まちじゅう図書館事業における区民利用施設等の読書環境を整備します。

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 地域文化振興支援事業	509	475	34	新型コロナウイルス感染症対策物品購入による増
2 芸術文化ふれあい事業				
(1) ISOGOダンスまつり	1,016	274	742	令和3年度の事業実施、新型コロナウイルス感染症対策物品購入による増
(2) 区民ホールギャラリー	14	10	4	
(3) 読書活動推進事業	305	300	5	新型コロナウイルス感染症対策物品購入による増
事業費合計	1,844	1,059	785	

【根拠とするデータ等】

磯子区地域文化振興事業補助金交付要綱記載の補助金上限額、昨年度実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	大蔭 直子	中鉢祐樹	大沢 友恵

[磯子区 地域振興課]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	区民スポーツ振興事業
-----	------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
7	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,610					1,610
前年度	1,620					1,620
増△減	△10	0	0	0	0	△10

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,000	1,000	1,300	予算	事業費	1,100	1,195
	メリット+一般財源	1,000	1,000	1,300		一般財源	1,100	1,195
決算	事業費	876	983	1,145	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	876	983	1,145	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	区民のスポーツを通じた健康づくりを促進するため、磯子区体育協会加盟団体やスポーツ振興団体が開催する区民大会やスポーツ教室を支援します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	区民のスポーツへの関心や参加機会を高め、いつでも・どこでも・だれもが気軽に参加できるスポーツを普及させ、健康増進や住民同士の交流を一層図ることが求められています。また、区民スポーツ大会やスポーツ教室など、区民がスポーツに参加しスポーツへの関心を高める機会を安定的に継続することも重要です。		
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望	
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「魅力あふれるまち」		
3 根拠法令・要綱等	磯子区スポーツ振興活動補助金交付要綱、磯子区民駅伝大会事業補助金交付要綱		

【実績の推移・今後見込み】

- スポーツ振興活動支援事業

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	令和3年度見込
補助団体数	17団体	18団体	19団体	19団体	15団体	22団体
補助金額(計)	840,000円	876,000円	916,000円	916,000円	596,000円	1,040,000円

※令和2年度は例年補助金を交付していた磯子区民駅伝大会(例年200,000円交付)が中止となっています。

【実施内容】

- スポーツ振興活動支援事業
磯子区体育協会加盟団体及び区内スポーツ振興団体が実施するスポーツ振興活動(スポーツ大会・スポーツ教室等)へ補助金を交付します。
また、区内のスポーツ振興活動における新型コロナウイルス感染症対策を支援するため、上記補助金交付団体及び各地区スポーツ推進委員連絡協議会に対し新型コロナウイルス感染症対策物品の配付を行います。
- オリンピック・パラリンピック機運醸成事業
オリンピック・パラリンピックの開催に併せて、区内の賑わいの創出に寄与する事業の実施します。
また、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した実施方法の検討を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
スポーツ振興活動支援事業	1,100	1,120	△20	令和元年度実績に基づく減
オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	510	500	10	新型コロナウイルス感染症対策物品購入による増
事業費合計	1,610	1,620	△10	

【根拠とするデータ等】
令和元年度の補助金交付実績、過去の各種スポーツ事業の開催実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大蔭 直子	係長 中鉢 祐樹	地域活動係 松村 雄一郎
--------------------	-------------	-------------	-----------------

[磯子区 地域振興課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費 子育て・子ども・青少年育成費	性質・ 課題区分	学校連携 青少年健全育成	事業開始年度	平成19年度
------	----------------------------------	-------------	-----------------	--------	--------

事業名 青少年育成活動助成事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号 29 1	事業評価 書番号 該当なし 事業評価 書番号
	○		

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	962					962
前年度	920					920
増△減	42	0	0	0	0	42

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	920	920	920	予算	事業費	962	962
	メリット＋一般財源	920	920	920		一般財源	962	962
決算	事業費	778	680	646	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、目付(年月)			
	メリット＋一般財源	778	680	646	無			

事業の概要 (目的)	青少年育成を目的とした団体が行う事業に対して補助を行い、青少年育成活動を推進します。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>少子高齢化が深刻な課題になっている現在、地域における青少年育成活動をさらに活性化していくことは、必要不可欠です。</p> <p>区内で活躍する青少年育成団体の事業を効果的に支援し、青少年の健全育成を推進することを目指します。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」
-------------	-------------------------------

3 根拠法令・要綱等	磯子区青少年育成活動補助金交付要綱、磯子区子ども会連絡協議会事業補助金交付要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和2年度見込</th> <th>令和3年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年育成活動補助金 交付件数</td> <td>7件</td> <td>7件</td> <td>7件</td> <td>7件</td> <td>6件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>青少年育成活動補助金 交付金額</td> <td>410千円</td> <td>418千円</td> <td>420千円</td> <td>440千円</td> <td>480千円</td> <td>560千円</td> </tr> <tr> <td>子ども会連絡協議会事業補助金 交付金額</td> <td>360千円</td> <td>360千円</td> <td>260千円</td> <td>206千円</td> <td>120千円</td> <td>360千円</td> </tr> </tbody> </table>		28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	令和3年度見込	青少年育成活動補助金 交付件数	7件	7件	7件	7件	6件	8件	青少年育成活動補助金 交付金額	410千円	418千円	420千円	440千円	480千円	560千円	子ども会連絡協議会事業補助金 交付金額	360千円	360千円	260千円	206千円	120千円	360千円
	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	令和3年度見込																							
青少年育成活動補助金 交付件数	7件	7件	7件	7件	6件	8件																							
青少年育成活動補助金 交付金額	410千円	418千円	420千円	440千円	480千円	560千円																							
子ども会連絡協議会事業補助金 交付金額	360千円	360千円	260千円	206千円	120千円	360千円																							

【実施内容】	<p>1 青少年育成活動支援事業 青少年の育成活動を目的とした事業に対して補助を行います。補助事業は公募します。 また、区内の青少年育成活動における新型コロナウイルス感染症対策を支援するため、上記補助金交付団体及び各地区青少年指導員協議会に対し新型コロナウイルス感染症対策物品の配付を行います。</p> <p>2 子ども会連絡協議会支援事業 磯子区子ども会連絡協議会が行う事業に対して補助を行います。 また、上記に加え新型コロナウイルス感染症対策物品の配付を行います。</p>
--------	--

【事業費の内訳】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 青少年育成活動支援事業</td> <td>599</td> <td>560</td> <td>39</td> <td>新型コロナウイルス感染症対策物品購入による増</td> </tr> <tr> <td>2 子ども会連絡協議会支援事業</td> <td>363</td> <td>360</td> <td>3</td> <td>新型コロナウイルス感染症対策物品購入による増</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>962</td> <td>920</td> <td>42</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	1 青少年育成活動支援事業	599	560	39	新型コロナウイルス感染症対策物品購入による増	2 子ども会連絡協議会支援事業	363	360	3	新型コロナウイルス感染症対策物品購入による増				0					0					0		事業費合計	962	920	42	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																																
1 青少年育成活動支援事業	599	560	39	新型コロナウイルス感染症対策物品購入による増																																
2 子ども会連絡協議会支援事業	363	360	3	新型コロナウイルス感染症対策物品購入による増																																
			0																																	
			0																																	
			0																																	
事業費合計	962	920	42																																	

【根拠とするデータ等】
 磯子区青少年育成活動補助金交付要綱、磯子区子ども会連絡協議会事業補助金交付要綱の補助金上限額、昨年度実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大蔭 直子	係長 中鉢 祐樹	地域活動係 大沢 友恵
--------------------	-------------	-------------	----------------

[磯子区 こども家庭支援課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	子育て応援事業
-----	---------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	3, 4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位: 千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,486					4,486
前年度	4,368					4,368
増△減	118	0	0	0	0	118

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算	事業費 4,164	3,599	4,702	事業費	4,600	4,600
決算	メリット+一般財源 4,164	3,599	4,702	一般財源	4,600	4,600
決算	事業費 3,692	4,049	4,631	方針に関する決裁 種別()		
決算	メリット+一般財源 3,692	4,049	4,631	有:件名 ()、日付 (年 月)		
				無		

事業の概要 (目的)	子どもが健やかに育ち、子育てが楽しめる家庭が増えることを目指して、出産前から子育て期にわたり支援を行います。また、地域子育て支援拠点や地域の子育て支援団体・機関との連携をすすめ、地域で子育て支援を進めていきます。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等
現在の子育て家庭は、核家族化の増加や地縁の繋がりの希薄化した社会で育っており、親になるまでに子育てを身近に体験したことがない家庭が増えています。また、核家族化などに伴う家族力の低下も目立ち、祖父母世代も就労や介護を抱えており、日常的に育児の相談・支援を頼める人を持つ家庭が減少しています。そんな中、育児不安や孤独感を感じる人は増加しており、これを軽減できるような子育て支援事業の実施が求められています。そこで、子どもが健やかに育つための知識の普及や育児不安、悩みを感じている養育者が気軽に相談しやすいように、プレパパ出産・育児教室、赤ちゃん教室などを開催します。また、地域全体で子育てをするネットワークの推進(子育て支援連絡会)に取り組み、家庭と地域の育児力を高めていきます。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係
令和2年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」

3 根拠法令・要綱等
母子保健法、児童福祉法
横浜市子ども・子育て支援事業計画

【実績の推移・今後見込み】

1 プレパパ出産・育児教室(令和2年度より「新米パパの育児教室」から名称変更) 参加人数(年3回実施 令和2年度は2回実施予定)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込み	令和3年度見込み
延べ人数	140人	205人	148人	106人	122人	101人	129人	100人	150人

2 プレパパ・プレママの会(令和2年度新規事業) 参加人数(年12回実施 令和2年度は9回実施予定)

	令和2年度見込み	令和3年度見込み
延べ人数	216人	288人

3 授乳相談 参加人数(年12回実施 令和2年度は11回実施予定)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込み	令和3年度見込み
延べ人数	264人	220人	254人	136人	152人	150人	145人	140人	150人

4 赤ちゃん教室(平成29年度より「ママ会」から名称変更)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込み	令和3年度見込み
会場数	12	12	12	10	10	10	9	8	10
延べ人数	3,686人	4,307人	4,024人	3,377人	2,703人	2,512人	2,184人	1,900人	2,200人

5 磯子区子育て支援マップ作成部数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込み	令和3年度見込み
作成部数	3,500	3,500	3,500	3,500

6 こども家庭支援相談リーフレット作成部数(隔年印刷)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込み	令和3年度見込み
作成部数	10,000	0	10,000	0	10,000

7 はっちネット冊子作成部数(隔年印刷)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込み	令和3年度見込み
作成部数	500	500	0	500	0

【実施内容】

- 1 プレパパ出産・育児教室
 初めて父親になる方とその配偶者が妊娠、出産について学び、父親の育児参加と育児不安の軽減を目的に実施します。年3回、土曜日午前開催に開催する「プレパパ出産・育児教室」と、月1回、地域子育て支援拠点と連携して行う「プレパパ・プレママの会」を実施します。
 「プレパパ出産・育児教室」は、臨床心理士によるパートナーとのコミュニケーションの取り方、助産師の指導による沐浴・妊婦体験を実施します。先輩パパ・ママからの体験談も聞ける教室です。
 「プレパパ・プレママの会」は、平日月1回、地域子育て支援拠点（いそビヨ）で助産師による沐浴指導を行います。
- 2 授乳相談
 月1回、授乳中の母親を対象に助産師が授乳指導を行います。授乳を開始し間もない方から卒乳期の方までが参加しています。医療機関の授乳外来では新患で受けてもらえないことも多く、気軽に相談できる貴重な場となっています。専門職のアドバイスにより、授乳に関する不安だけでなく、育児不安を解消する機会となっています。
- 3 赤ちゃん教室
 区内10会場で、月1回（休会あり）、0歳の第1子を育てている養育者を対象に、保健師や栄養士等が子育て相談や子育て情報の提供、母親同士の仲間づくりを行っています。母親の育児不安の軽減・解消や地域での孤立化を防ぐことが目的です。地域の主任児童委員、民生委員、保健活動推進員等がボランティアとして協力してくれており、子育て世帯と地域をつなぐ場ともなっています。
- 4 保育ボランティア研修・配置事業
 保育ボランティアグループを対象に、年4回研修を開催し、保育をする際に役立つ情報や技術を学んでいただき、保育の質向上に役立てます。また保育ボランティアを区の事業等に配置します。
- 5 子育て支援連絡会
 区内で子育て支援活動を実施する関係機関が、子育て支援の現状及び課題を共有し、活動の連携強化を目指すため、平成22年度より連絡会を開催しています。この連携により、子育て中の方が安心して楽しく子育てができる環境を整備します。区内を4つの地区に分け、親子向けのイベントや情報提供を実施しています。
 また、子育て支援の情報提供のネットワークをさらに広げていきます。
- 6 出生を祝う事業
 磯子区で育つ子ども達に対し、生まれてきたことに対するお祝いの気持ちを届け、健やかな成長を促すことを目的として、磯子区オリジナルのアルバムを作成し、配布します。
- 7 子育て支援MAP
 区内の子育て情報を提供するツールとして、コンパクトな折りたたみサイズの「磯子区子育て支援マップ」を作成、配布しています。年1回発行しています。
- 8 こども家庭支援相談リーフレット制作事業
 「こども家庭支援相談」は乳幼児から青年期に渡る子育ての相談先です。その周知としてリーフレットを10,000部増刷します。（隔年印刷）
- 9 発達障害児支援ネットワーク事業
 発達障害児地域支援ネットワーク事業（はっちネット）は発達障害児・者の支援機関が、個別支援の力量形成や顔の見える関係づくりを進めるために、平成17年度に発足しました。
 発達障害の理解や支援の方法等を掲載した情報誌を当事者家族や支援者に配布し、情報提供を行います。
 また、障害児の理解や支援を進めるための講演会等も実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 プレパパ出産・育児教室	451	355	96	報償費（助産師）の増
2 授乳相談	292	292		
3 赤ちゃん教室	1,665	1,665		
4 保育ボランティア研修・配置事業	138	138		
5 子育て支援連絡会	200	200		
6 出生を祝う事業	910	798	112	アルバムの単価増
7 子育てMAP	580	580		
8 こども家庭支援相談 リーフレット作成	150	0	150	隔年印刷による増
9 発達障害児地域支援ネットワーク事業	100	340	△ 240	隔年印刷による減
事業費合計	4,486	4,368	118	

【根拠とするデータ等】

母子保健統計 母子健康手帳交付数 1,207件（R元） 両親教室 570人（R元） 母子訪問 1,260件（R元）
 くんには赤ちゃん訪問 1,006件（R元） 乳幼児健診対象児（R元） 4か月：1,107人 1歳6か月児：1,353人 3歳児：1,343人 赤ちゃん教室 2,184人（母子合計延べ人数 R元） 統計ポータルサイト（出生数1,225人（H30）
 外国人登録者数5,061人（R元）1位中国 2位韓国 3位フィリピン 4位ベトナム 5位ネパール

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	島田 恵	佐藤 朱美	佐藤 朱美

[磯子区 こども家庭支援課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成18年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名 保育園地域子育て事業	特記事項	中期計画-38の政策	事業評価 書番号	該当なし
	中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 ○ 中期計画-財政運営 ○ 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業 ○	政策番号 主な施策番号 23 4 24 1	事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源
		国・県	諸収入		
本年度	795		21		774
前年度	997		24		973
増△減	△ 202	0	△ 3	0	△ 199

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
					事業費	715
予算	970	1,187	1,204	事業費	715	715
メリット+一般財源	970	1,187	1,204	一般財源	715	715
決算	1,118	807	1,139	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、目付(年月)		
事業費	1,118	807	1,139			
メリット+一般財源	1,118	807	1,139			

事業の概要 (目的)	子育てに不安や悩みを抱える保護者が多くなっている現状をふまえ、保育所という既存の施設を活用し、保育の専門家としての職員のマンパワーを生かした育児支援を行います。特に孤立しやすい保護者を、まず保育園で行っている支援を知ってもらい事業を展開し、その後の子育て支援につなげます。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>核家族化や少子化の進行により、出産以前に乳幼児に接する機会が少なくなっていることから、子育てに関する知識や経験を得ることが難しくなっています。また、地域社会のつながりの希薄化により、子育て家庭に対する地域の支援が得られないことから、子育て家庭が孤立化してしまう危険性があります。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 8 その他
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針 「ともに支え合う暮らしやすいまち」
3 根拠法令・要綱等	食育基本法

【実績の推移・今後見込み】

項目	単位	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度見込	3年度見込	4年度見込
育児支援事業								
出前保育事業	参加人数/実施回数	954/28	1,034/28	740/22	1073/24	(950/20)	(800/23)	(800/23)
育児イベント	参加人数	209	208	173	336	(200)	(500)	(500)
絵本の貸出/読み聞かせ	貸出件数/実施回数	552/192	1,205/304	847/193	831/275	(550/190)	(842/174)	(842/174)
My保育園事業								
ベビーアルバム(手形・足型)	参加人数	-	-	-	181	(100)	(170)	(170)
すくすくもぐもぐ相談事業								
給食体験	参加人数	73	109	42	27	(102)	(35)	(35)
育児相談	件数	1,108	1,145	1,874	2266	(1,200)	(1,646)	(1,646)

【実施内容】

1 育児支援事業	<p>(1) 地域施設等への保育職員による出前保育事業 保育園職員が公園やログハウス、地域ケアプラザ、磯子赤ちゃん教室、赤ちゃんひろばに出向き、絵本の読み聞かせなど、保育園で行っている保育メニューを出前実践し、地域の親子の育児支援に取り組みます。また、その後の保育園で行う育児支援に繋げます。</p> <p>ア 実施保育園 区内市立保育園 2園</p> <p>イ 実施回数 各園月に1~2回程度 新入園児の受け入れに伴い4月、8月は未実施 22回予定</p> <p>ウ 実施場所 近隣の公園、地域子育て支援拠点、地域ケアプラザ、親と子のつどいの広場、磯子赤ちゃん教室等</p> <p>エ 対象者 磯子区在住の未就学児及びその保護者</p> <p>(2) 地域での育児イベントの開催 子育て中の地域の保護者に向け、区内の市立・民間保育園、地域育児支援拠点、区の保健師、コンシェルジュ等と連携し、遊びの場の提供と育児支援等の紹介を行います。幅広い家庭に参加いただける工夫を講じ、より多くの子育て世帯と地域をつなぎ、親子ともに健やかに育てる環境作りを構築します。</p> <p>ア 実施回数 年3回 親子でからだをうごかさう(年2回) いそっこあつまれ(年1回)</p> <p>イ 実施場所 ケアプラザ・磯子区役所等</p> <p>ウ 対象者 磯子区在住の未就学時及びその保護者</p>
----------	--

(3)絵本や紙芝居の読み聞かせ、絵本の貸し出しコーナーの設置
 横浜市民読書活動推進計画のもと、子どもが絵本や紙芝居の読み聞かせを通じた本とふれあう環境の充実を図り、保護者に対して読み聞かせの大切さや意義を伝えます。さらに、保護者向けにも子育てに生かせる絵本や関連書物など、貸し出し図書のラインナップを拡充することで、幅広い保護者の皆様に興味を持っていただく工夫を講じていきます。

- ア 実施保育園
区内市立保育園 2園
- イ 実施回数
園庭開放日(絵本・紙芝居読み聞かせは月3～4回)
東滝頭保育園 ……週2回
洋光台第二保育園(育児支援センター園)……週5回
- ウ 対象者
地域に住む未就学児及びその保護者、保育園に通う未就学児及びその保護者

(4)東滝頭保育園にて「地域親子の居場所・仲間作りの場」の提供【新規】
 「地域親子の居場所・仲間作りの場」支援を東滝頭保育園内の保育室にて、1・2歳児親子対象に行います。なお、局予算を活用し、育児支援センター園(洋光台第二保育園)で0歳児から2歳児の親子を対象としたワイワイ0・1・2を実施しております。本事業は育児支援センター園とも連携した効率的な事業展開を行います。

- ア 実施保育園
東滝頭保育園
- イ 実施日
6月・7月・9月・10月・11月・12月・1月
各月1回 5組
- ウ 対象者
磯子区在住1歳児・2歳児親子

2 My保育園事業

出産後の不安な時期に子育ての孤立感軽減を目的として、出産を祝う事業で配布するアルバムを保育園に持参した区民に対し、赤ちゃんの手形・足形をプレゼントすることにより来所を促し、保育園の子育て支援事業の周知と事業参加を促します。

- ア 実施保育園
区内市立保育園 2園
- イ 実施日
園庭開放日
- ウ 対象者
地域に住む未就学児及びその保護者、保育園に通う未就学児及びその保護者

3 すくすくもぐもぐ相談事業

保育園で提供する献立や調理方法、子どもに必要な食に関する保護者の知識や理解を深めます。さらに、保育園が育児に関する身近な相談機関であることを、給食体験等を通じて広め、子育て中の家庭や家族が気軽に相談が出来る環境を整えます。

(1)給食体験と育児相談事業

- ア 実施保育園
区内市立保育園 2園
- イ 実施回数
給食体験は4月及び8月を除く毎月1回実施。育児相談は給食体験時も含め随時実施。
- ウ 給食体験受入可能人数(1日あたり最大)

東滝頭保育園	乳児3組、幼児2組
洋光台第二保育園	乳児3組、幼児2組
- エ 対象者
離乳食を開始した児から未就学児及びその保護者

4 花いっぱい 野菜いっぱい あったか保育園事業(ガーデンネックレス関連事業)【拡充】

区内市立保育園が民間保育園、幼稚園、高齢者施設やボランティア等と育てた種や花を通じて交流を深めます。さらに、地域のボランティアと共に花壇作りや壁面植栽を行うことにより、保育園が花や緑が豊かな場となり、幅広い世代が交流できる場として自然にふれあう環境を作り、豊かな心を育てます。地域の親子と共に野菜を育て、交流や収穫等の体験を通じ、食育を推進します。また、新たな交流の方法としてビデオを活用し実際に交流できない状況の保育園や幼稚園、高齢者施設等の方に「ビデオレター」での交流を進めます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 育児支援事業	319	371	△ 52	
2 My 保育園事業	40	100	△ 60	
3 すくすくもぐもぐ相談事業	56	76	△ 20	
4 花いっぱい 野菜いっぱい あったか保育園事業	380	450	△ 70	
事業費合計	795	997	△ 202	

【根拠とするデータ等】

磯子区の福祉と保健衛生(磯子福祉保健センター事業概要) 令和元年度実績、磯子区保育資源ネットワーク構築事業実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭 係
	島田 恵	櫻井 景太	伊賀 久美子

[磯子区 こども家庭支援課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成30年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	親子の笑顔サポート事業
-----	-------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	3
30	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,669					3,669
前年度	3,669					3,669
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算		1,745	2,905	子	4,000	4,000
算		1,745	2,905	算	4,000	4,000
決		1,632	2,651			
算		1,632	2,651			

事業の概要(目的)	<p>子どもへの関わり方に悩む保護者を支えることで虐待防止につなげ、日常のなかに潜む不適切な関わりを『怒らない子育て方法』で親子の笑顔に変える支援を実施します。また、養育支援世帯を地域で支え見守る虐待防止の地域づくりへむけたネットワーク構築を継続して行います。</p>
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	<p>日常の窓口対応や母子保健活動等で、子どもへのしつけや関わり方についての相談が多くあります。中には行き過ぎたしつけにより、身体的・心理的な虐待が起きている例もあります。また、子どもや女性で複雑な事情を抱える相談者や精神的支援を必要とする相談者が増加傾向にあり、相談時に法的な相談や精神面での支援を求められています。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」
3 根拠法令・要綱等	母子保健法、児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律、DV防止法、横浜市子どもを虐待から守る条例、横浜市子ども・子育て支援事業計画

【実績の推移・今後見込み】																
1 怒らない子育て方法紹介講座 実施会場数及び参加人数	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度見込</td> <td>令和3年度見込</td> </tr> <tr> <td>会場数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>15</td> <td>30</td> <td>100</td> </tr> </table>		令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込	会場数	1	1	1	延べ人数	15	30	100			
	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込													
会場数	1	1	1													
延べ人数	15	30	100													
2 怒らない子育てでサポーター養成講座(基礎講座) 実施会場数及び参加人数	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和2年度見込</td> <td>令和3年度見込</td> </tr> <tr> <td>会場数</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> </table>		令和2年度見込	令和3年度見込	会場数	1	1	延べ人数	15	15						
	令和2年度見込	令和3年度見込														
会場数	1	1														
延べ人数	15	15														
3 怒らない子育て方法実践講座 実施会場数及び参加人数	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度見込</td> <td>令和3年度見込</td> </tr> <tr> <td>会場数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>17</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </table>		令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込	会場数	2	2	2	延べ人数	17	30	30			
	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込													
会場数	2	2	2													
延べ人数	17	30	30													
4 ほのぼの子育てリーフレット作成・配布数	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成29年度</td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度見込</td> <td>令和3年度見込</td> </tr> <tr> <td>作成・配布数</td> <td>3,000</td> <td>7,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> </tr> </table>		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込	作成・配布数	3,000	7,000	3,000	3,000	3,000			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込											
作成・配布数	3,000	7,000	3,000	3,000	3,000											
5 エリア別虐待防止連絡会実施回数	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度見込</td> <td>令和3年度見込</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>6回</td> <td>10回</td> <td>14回</td> <td>12回</td> </tr> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込	回数	6回	10回	14回	12回					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込												
回数	6回	10回	14回	12回												
6 愛の鞭ゼロ作戦リーフレット 配布数	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度見込</td> <td>令和3年度見込</td> </tr> <tr> <td>配布数</td> <td>13,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> </tr> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込	配布数	13,000	3,000	3,000	3,000					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込												
配布数	13,000	3,000	3,000	3,000												
7 親子のための法律相談 実施及び相談件数	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度見込</td> <td>令和3年度見込</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込	実施回数	6	6	6	6	相談件数	15	12	12	12
	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込	令和3年度見込												
実施回数	6	6	6	6												
相談件数	15	12	12	12												

【実施内容】

- 1 ひろがれ！怒らない子育て
子どもとの上手なかかわり方の方法として、怒らない子育て方法を区内に広めます。
- (1) 怒らない子育て方法紹介講座
子育て中の養育者や区内の子育て支援を実践している支援者を対象に、紹介講座を実施し、怒らない子育て方法を啓発します。
また、受講者から怒らない子育てサポーターの人材発掘を行い、サポーター養成も目指します。
対象：2歳半から未就学児の子育て中の養育者、区内の子育て支援を実践している支援者等100人
年1回（半日×1回）1会場
- (2) 怒らない子育てサポーター養成講座（基礎講座）
区内の子育て支援を実践している支援者を対象に講座を実施し、怒らない子育て方法を養育者に広めるサポーターを養成します。
対象：地域子育て支援拠点（いそびよ）スタッフ、子育て支援者、子育て支援関係者、区保健師、社会福祉職、幼稚園保育園職員等 15人 年1回（半日コース）
- (3) 怒らない子育て方法実践講座
地域子育て支援拠点（いそびよ）と連携し、区内の養育者を対象に、怒らずに子どもと上手に関わるスキルを学ぶ講座を実施します。
対象：2歳半から未就学児の子育て中の養育者
1会場 15人 年2回（半日×2回 1コース）×2会場
- (4) 「ほのぼの子育て」リーフレット配付・啓発事業
成長期ごとの発達特性や効果的なしつけ、コミュニケーションの方法、困ったときの相談先について、養育者等にリーフレットを配付し情報提供を行います。
- 2 「STOP！こども虐待」事業
 - (1) エリア別虐待防止連絡会
地域で生活する要保護児童や要支援児童、または困難を抱える親子を支えるために、生活圏（中学校区）ごとで有識者を交えて、関係機関、地域の支援者とともに課題の共有を行い連携を深めます。
 - (2) 「愛の鞭ゼロ作戦」リーフレット配付・啓発事業
たたくなどの間違っしつけが子どもの脳に影響を与えることを周知し、体罰等によらない子育ての推進にむけて、リーフレットを区内保育園・幼稚園・小学校等を通して配付し、保護者の方に届くよう啓発します。
- 3 親子のための法律相談
DV等から親子の安全を守るため、専門領域に精通した弁護士による相談を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1ひろがれ！怒らない子育て	2,240	2,240	0	
2「STOP！こども虐待」事業	1,043	1,043	0	
3親子のための法律相談	386	386	0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	3,669	3,669	0	

【根拠とするデータ等】

妊産婦及び女性の健康相談実施状況 電話相談延べ 264件 来所相談延べ 564件
区への児童虐待に係る通告・相談に対し、調査等の対応した件数 225件／全区3,947件（30年度：190件）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	島田 恵	佐藤 朱美	

[磯子 区 福祉保健 課]

Table with 5 columns: 予算区分, 地域福祉保健推進費, 性質・課題区分, その他福祉・保健・衛生, 事業開始年度, 平成18年度

事業名: 磯子区地域福祉保健計画策定・推進事業

特記事項: 中期計画-38の政策, 中期計画-行政運営, 中期計画-財政運営, 重点事業, 新規・拡充, 温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策: 政策番号 14, 主な施策番号 1

事業評価書番号: 該当なし

(単位: 千円)

財源内訳表: 区分, 金額, 国・県, 諸収入, 一般財源

歳出表: 歳出, 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度, 令和4年度, 令和5年度

事業の概要(目的): 「誰もが幸せに暮らせるまち」を目指して、地域の福祉保健活動の支援や計画の普及啓発を行い、第4期磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」の推進を図ります。

(説明) 1 地域の課題等, 2 運営方針等との関係, 3 根拠法令・要綱等

実績の推移・今後見込み: 表 with columns for years and metrics like 補助額, 参加人数, etc.

【実施内容】 1 支援事業, 2 普及啓発事業

事業費の内訳: 表 with columns for 細目事業名, 本年度, 前年度, 差引, 説明

【根拠とするデータ等】 「スイッチON磯子」補助金の申請件数実績推移、前回策定時における委託契約の各種見積等(平成27年度)

課長: 大山 尚久, 係長: 栗原 明日香, 事業企画担当: 渡邊 竜也

[磯子区 福祉保健課]

Table with 5 columns: 予算区分, 地域福祉保健推進費, 性質・課題区分, 健康づくり, 事業開始年度, 平成22年度

事業名: 区民の健康づくり応援事業

特記事項: 中期計画-38の政策, 中期計画-行政運営, 中期計画-財政運営, 重点事業, 新規・拡充, 温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策: 政策番号 15, 主な施策番号 1, 2

事業評価書番号: 該当なし

(単位:千円)

Table with 6 columns: 区分, 金額, 財源内訳 (国・県, 諸収入), 一般財源. Rows: 本年度, 前年度, 増△減

Table with 6 columns: 歳出, 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度, 令和4年度, 令和5年度. Rows: 事業費, メリット+一般財源

事業の概要 (目的): 区民が健康づくりに関心を持つ機会を提供するとともに、保健活動推進員や食生活等改善推進員の人材育成を行い、区民の健康づくりを応援します。

(説明)

1 地域の課題等
健康寿命を延ばすには、生涯にわたりライフステージに応じた健康づくりを継続していくことが大切です。区民の死因のうち、がん・心疾患・脳血管疾患等の生活習慣病の割合は5割を超え、生活習慣病予防は重要です。また横浜市は、全国平均と比較して、がん検診の受診率が低いことが、健康問題としてあげられます。これらの問題を軽減し健康寿命を延ばすため、健康に関する知識の普及・啓発、健康づくりを行うための「きっかけづくり」の場を提供するとともに、地域全体でサポートするような環境を整えていく必要があります。そのため、身近な地域の健康づくりを進めていく人材育成も重要です。

地域の課題等の収集手段: 1 日常の窓口対応等, 3 地区担当制度, 6 区民要望, 7 関係団体からの要望

2 運営方針等との関係: 令和2年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」
3 根拠法令・要綱等: 健康増進法 横浜市がん撲滅対策推進条例 横浜市保健活動推進員規則 第2期健康横浜21

【実績の推移・今後見込み】

1 出張！健康づくり応援隊
Table with 8 columns: 実施回数, 参加者数(延べ), 27年度実績, 28年度実績, 29年度実績, 30年度実績, 元年度実績, 2年度見込み, 3年度見込み

2 がん検診・特定健診啓発事業
横浜市がん検診受診率(磯子区)
Table with 6 columns: がん種別, 27年度受診率, 28年度受診率, 29年度受診率, 30年度受診率, 元年度受診率

横浜市国民健康保険加入者の特定健診受診率(磯子区)
Table with 6 columns: 特定健診, 27年度受診率, 28年度受診率, 29年度受診率, 30年度受診率, 元年度受診率

3 保健活動推進員関連事業

(1) 保健活動推進員研修
Table with 8 columns: 実施回数, 参加者数(延べ), 27年度実績, 28年度実績, 29年度実績, 30年度実績, 元年度実績, 2年度見込み, 3年度見込み

(2) 保健活動推進員の活動支援(令和3年度より2事業を統合)
Table with 8 columns: 実施回数, 参加者数(延べ), 27年度実績, 28年度実績, 29年度実績, 30年度実績, 元年度実績, 2年度見込み, 3年度見込み

(3) あなたのまちで健康づくり講座(令和3年度より活動支援に統合)
Table with 8 columns: 実施回数, 参加者数(延べ), 27年度実績, 28年度実績, 29年度実績, 30年度実績, 元年度実績, 2年度見込み, 3年度見込み

(4) ウォーキング企画支援(令和3年度より活動支援に統合)
Table with 8 columns: 実施回数, 参加者数(延べ), 27年度実績, 28年度実績, 29年度実績, 30年度実績, 元年度実績, 2年度見込み, 3年度見込み

4 乳幼児の食育事業

(1) 出張栄養相談

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
実施回数	12	12	12	12	12	10	12
参加者数(延べ)	124	135	127	99	100	100	100

(2) おかゆ講座

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
実施回数	4	6	6	6	6	6	12
参加組数(延べ)	78	115	108	117	120	120	120

(3) おいしいお話よみきかせ

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
実施回数	2	2	2	2	2	0	2
参加組数(延べ)	58	44	37	40	50	0	20
参加者数(延べ)	123	102	84	91	100	0	40

【実施内容】

1 出張！健康づくり応援隊（継続）

内容：商店街や企業のイベント等で買い物客や働き世代の区民を対象に、食育・運動・禁煙・健（検）診に関する啓発等を、地域の関係団体等と連携して行います。

実施場所：区内商店街・区内企業等

実施回数：年3回

2 がん検診・特定健診啓発事業（継続）

内容：医師会・医療機関と連携したがん検診・特定健診の受診勧奨

10月のがん検診啓発月間に、区内医療機関から区民（患者）に対し、リーフレット・ポスター・ミニのぼり旗・トイレットペーパー等の啓発物品を活用してがん検診・特定健診の受診勧奨をしていただきます。その際に効果的な健診啓発を実施できるよう、啓発月間開始までに区健康づくり係から医療機関へ、情報提供や啓発物品の活用方法などの提案を行います。

実施場所・時期等：10月 各医療機関から区民への受診勧奨

対象者：区民

3 保健活動推進員関連事業

(1) 保健活動推進員研修（継続）

内容：保健活動推進員が、地域で健康づくり活動実践するために必要な知識と技術を身につけられるよう、研修会を実施します。

実施回数：研修会（講義及び実習） 計3回

対象者：保健活動推進員

(2) 保健活動推進員の活動支援（継続 あなたのまちで健康づくり講座・ウォーキング企画支援を統合）

内容：保健活動推進員が企画する区民向け健康づくり講座（ウォーキング・体力測定・生活習慣病予防・感染症・熱中症予防啓発等）に対し、企画・実施の支援をするとともに、啓発物品等を配布します。

実施場所：9地区

対象者：保健活動推進員及び区民

4 乳幼児の食育事業

(1) 出張栄養相談（継続）

内容：離乳食や幼児食への不安解消等を目的として、地域子育て支援拠点「いそピヨ」において出張栄養相談を行います。必要に応じて、地域子育て支援拠点の子育てアドバイザーや子ども家庭支援課の保健師に対し情報提供を行い、適切な支援に結びつけます。

実施場所：地域子育て支援拠点「いそピヨ」

実施回数：月1回

対象者：養育者

(2) おかゆ講座（拡充）

内容：離乳食の基本であるおかゆの作り方を学ぶ機会を提供します。

実施場所：地域子育て支援拠点「いそピヨ」及び区役所

実施回数：いそピヨ6回、区役所6回

（いそピヨ6回（1回あたり20組）→いそピヨ6回+区役所6回（1回あたり10組））

対象者：離乳食を開始する養育者（1回10人）

(3) おいしいお話よみきかせ（縮小）

内容：図書館司書による絵本の読みきかせと、絵本に出てくる料理の試食による食育講座を実施します。

実施場所：磯子図書館

実施回数：2回（夏休み期間・冬休み期間 各1回）

対象者：未就学児とその養育者（1回あたりの参加組数30→10組）

5 食生活等改善推進員（ヘルスマイト）活動支援事業（令和2年度中止につき新規）

内容：ヘルスマイトの新たな人材を発掘するため、企業と連携したイベント等の場で、ヘルスマイトの活動紹介を行います。また、食育レシピを掲載した広報紙を作成し、イベント時に配布するとともに、年間を通じてヘルスマイトの活動の重要性をアピールします。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 出張！健康づくり 応援隊	203	203	0	
2 がん検診・特定健診 啓発事業	721	1,000	△ 279	実施方法の変更、購入物 品の見直しによる減
3 保健活動推進員 関連事業			0	
(1)保健活動推進員研修	57	65	△ 8	実施方法の見直しによる減
(2)保健活動推進員活動支援	407	0	407	2事業をまとめたことによる増
(3)あなたのまちで 健康づくり講座	0	482	△ 482	活動支援への統合による 皆減
(4)ウォーキング企画支援	0	225	△ 225	活動支援への統合による皆減
4 乳幼児の食育事業			0	
(1)出張栄養相談	126	125	1	
(2)おかゆ講座	126	52	74	実施回数の増加による増
(3)おいしいお話 よみきかせ	100	177	△ 77	参加人数を減らし人件費 を削減することによる減
5 食生活等改善推進員 活動支援事業	360	360	0	コロナの影響により令和 2年度分が中止のため
事業費合計	2,100	2,689	△ 589	

【根拠とするデータ等】

第2期健康横浜21 中間評価報告（平成30年3月）、第2期横浜市国民健康保険保健事業実施計画（平成30年3月）
令和元年度がん検診区別実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	大山 尚久	井口 順子	大友 みず穂

(磯子 区 - 31)

[磯子 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成17年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名
高齢者みんなで支えるまちづくり事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
16	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,496					1,496
前年度	1,582					1,582
増△減	△ 86	0	0	0	0	△ 86

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,992	1,711	1,901	予算	事業費	1,496	1,496
	メリット+一般財源	1,992	1,711	1,901		一般財源	1,496	1,496
決算	事業費	1,755	1,783	1,743	方針に関する決裁 種別()			
決算	メリット+一般財源	1,755	1,783	1,743	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	高齢者人口の増加にともない、高齢者の健康づくり、認知症の増加、高齢者虐待の深刻化に対応するため、介護予防の普及、認知症支援、権利擁護の取組を進め、磯子区全体の地域包括ケアを推進します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・磯子区の65歳以上人口は令和2年3月末現在27.4%で区民の4人に1人以上が65歳以上です。また、厚生労働省の研究では65歳以上の高齢者のうち16%が認知症と言われており、認知症への対応が重要です。 ・高齢者自身が今後をどのように生きるかについては区民の関心が高く、生きがいを持って生活できるような仕組み作りが必要です。 ・高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築が求められています。その一環として、磯子区の高齢者の課題を関係者が話し合う地域ケア会議を実施し、地域包括ケアを推進していく必要があります。 ・区民の健康寿命を延ばすために健康づくり・介護予防の取組と健康に関する意識を高める啓発が必要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 8 その他
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」
3 根拠法令・要綱等	介護保険法 横浜市認知症高齢者等地域支援実地要綱 厚生労働省認知症サポーター等養成事業実施要綱 横浜市地域ケア会議実地要綱

【実績の推移・今後見込み】

(1) 認知症の理解に向けた普及啓発	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度見込	R3年度見込
認知症高齢者等あんしんネットワーク登録者	88人	106人	105人	124人	130人	130人
認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	12,547人	14,550人	16,101人	17,765人	18,500人	19,200人

(2) 地域ケア会議	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度見込	R3年度見込
個別ケース地域ケア会議	20回	20回	13回	14回	14回	14回
包括レベル地域ケア会議	13回	11回	10回	8回	7回	7回
区レベル地域ケア会議	1回	1回	1回	1回	1回	1回
合計	34回	32回	24回	23回	22回	22回

(3) ロコモティブシンドローム予防事業 区内元気づくりステーション数	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度見込	R3年度見込
	20か所	22か所	24か所	27か所	26か所	26か所

【実施内容】

(1) 認知症の理解に向けた普及啓発事業	地域ケアプラザや区社会福祉協議会と連携し、認知症高齢者等あんしんネットワークの普及啓発及び認知症サポーター養成講座を実施するとともに、認知症初期集中支援推進事業の推進を図り、磯子区の認知症施策全般の在り方を検討していきます。また、認知症を理解するためには、当事者の気持ちを知ることが大変重要であるため、認知症当事者の講話による普及啓発講演会を開催します。
(2) 地域ケア会議	地域包括ケアシステム構築に向けた課題検討のため、介護保険法に基づく地域ケア会議を区、各ケアプラザで継続して開催します。
(3) ロコモティブシンドローム予防事業	ロコモ予防の普及啓発と地域住民による介護予防活動のきっかけ作りのための「ハマトレみんなの磯子体操」について、講師がいない場面でも運動ができることを目指し、リーフレットとDVDを増版します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
認知症の理解に向けた普及啓発事業	1,147	1,320	△ 173	啓発物品在庫活用のための減
地域ケア会議	55	55	0	
ロコモティブシンドローム予防事業	294	207	87	感染症予防対策のための増
事業費合計	1,496	1,582	△ 86	

【根拠とするデータ等】

横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた磯子区行動指針（平成30年3月）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢者支援担当 係
	見村 めぐみ	芦澤 美穂	芦澤 美穂

[磯子区 高齢・障害支援課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	障害者地域生活サポート事業
-----	---------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
31	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,152	0	0			1,152
前年度	799	0	0			799
増△減	353	0	0	0	0	353

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	765	605	1,055	予算	事業費	1,101	851
	メリット+一般財源	765	605	1,055		一般財源	1,101	851
決算	事業費	1,041	717	781	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	1,041	717	781				

事業の概要(目的)	①障害者の地域生活課題を抽出し、課題解決に向けて支援者のスキルアップを図る。②支援関係機関のネットワークを充実させる。③障害者の理解を広げるため、区民向けに啓発を行う。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	障害者が住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができるよう、横浜市では「横浜市障害者プラン」を策定しています。27年度からは第3期がスタートし、障害状況に合わせた支援やライフステージを通じた一貫した支援、障害者の高齢化・重度化への対応が求められています。障害者基本法・総合支援法など様々な法律・制度が整備されてきていますが、障害者の抱える課題は多様であり、地域生活課題の解決を図るため、関係機関とのネットワークを構築し課題解決にあたっていく必要があります。		
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望	8 その他
2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区運営方針「ともに支えあう暮らしやすいまち」		
3 根拠法令・要綱等	障害者基本法 障害者総合支援法 発達障害者支援法 横浜市障害者プラン(第3期) 横浜市相談支援事業実施要綱		

【実績の推移・今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度予定
学習会参加者数	148	194	153	155	94	100	100

【実施内容】

- 障害者相談支援ネットワーク事業(自立支援協議会)
 - 障害者支援関係機関の支援者のスキルアップを目指し、学習会や課題別検討会を開催します。
 - 障害者の防災啓発について、自立支援協議会の中で話し合いの機会をもつなど継続して取り組みます。
- 障害者週間等普及啓発事業
 - 普及啓発：障害理解について広く区民に啓発するため、区内障害者施設の自主製品紹介ガイド「いそごでさがそ」を活用した啓発等を行います。
 - 障害者週間パネル展：障害者施設の紹介パネル展示や当事者の作品展示、作業所自主製品販売を行います。
 - 精神障害者退院促進リーフレットの印刷：精神障害者の退院に向けて本人や病院等に地域生活への移行に向けた情報提供を進めます。
 - 障害福祉サービス利用支援：福祉サービス利用の更新申請時に返信用封筒を同封し利便性を高めます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 障害者相談支援ネットワーク事業	88	88	0	精神科病院退院用リーフレットの印刷、いそごでさがそ版下更新による増
2 障害者週間等普及啓発事業	1,064	711	353	
			0	
			0	
事業費合計	1,152	799	353	

【根拠とするデータ等】

第3期障害者プラン改訂版(30年4月)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢・障害係
	見村 めぐみ	江場 貴之	江場 貴之

[磯子 区 生活衛生 課]

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区分	その他福祉・保健・衛生 動物愛護・適正飼育	事業開始年度	平成14年度
------	------------------------	-------------	--------------------------	--------	--------

事業名
食と暮らしの安全確保・啓発事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	641					641
前年度	813					813
増△減	△ 172	0	0	0	0	△ 172

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	470	527	663	予算	事業費	600	600
	メリット+一般財源	470	527	663		一般財源	600	600
決算	事業費	421	442	593	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	421	442	593				

事業の概要 (目的)	区民の安全で安心な生活を実現するため、健康危機管理の強化に関する支援や食品衛生、生活衛生及び動物の愛護に関する正しい情報を発信します
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 市内で令和元年に発生した食中毒は50件、患者数は258人となっています。病因物質では、カンピロバクター、アニサキスによるものが多く発生（それぞれ、18件と19件）しています。磯子区内でも5件の食中毒が発生しました。食中毒の発生を防ぐために事業者への効果的な監視指導・啓発や区民への適切な情報提供等を行っていく必要があります。 区内社会福祉施設等リスクが高い人々が利用する施設でノロウイルスによる健康被害が生じ症状が重くなる可能性があるため、発生予防や拡大防止のため継続的な施設管理指導が必要です。 飼育動物等に関する苦情（特に猫）（令和元年度：229件）やハチ等の衛生害虫相談（令和元年度：265件）が多く、問題解決のための支援や啓発の必要があります。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
-------------	------------

2 運営方針等との関係	令和2年度磯子区政運営方針「安全・安心なまち」
-------------	-------------------------

3 根拠法令・要綱等	食品衛生法、食品安全基本法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、横浜市スズメバチ等対策実施要領、横浜市居住衛生対策事業実施状況
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

<table border="1"> <tr> <th>フキトリ検査</th> <th>30年度実績</th> <th>R1年度実績</th> <th>R2年度見込み</th> <th>R3年度見込み</th> </tr> <tr> <td> </td> <td>84施設416検体</td> <td>63施設366検体</td> <td>50施設250検体</td> <td>60施設300検体</td> </tr> </table>	フキトリ検査	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み		84施設416検体	63施設366検体	50施設250検体	60施設300検体	<table border="1"> <tr> <th>社会福祉関連給食施設の衛生点検</th> <th>30年度実績</th> <th>R1年度実績</th> <th>R2年度見込み</th> <th>R3年度見込み</th> </tr> <tr> <td> </td> <td>96件</td> <td>57件</td> <td>55件</td> <td>75件</td> </tr> </table>	社会福祉関連給食施設の衛生点検	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み		96件	57件	55件	75件
フキトリ検査	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み																	
	84施設416検体	63施設366検体	50施設250検体	60施設300検体																	
社会福祉関連給食施設の衛生点検	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み																	
	96件	57件	55件	75件																	
<table border="1"> <tr> <th>感染症対策指導者養成研修</th> <th>30年度実績</th> <th>R1年度実績</th> <th>R2年度見込み</th> <th>R3年度見込み</th> </tr> <tr> <td> </td> <td>4回127人</td> <td>4回122人</td> <td>4回150人</td> <td>4回150人</td> </tr> </table>	感染症対策指導者養成研修	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み		4回127人	4回122人	4回150人	4回150人	<table border="1"> <tr> <th>衛生講習会</th> <th>30年度実績</th> <th>R1年度実績</th> <th>R2年度見込み</th> <th>R3年度見込み</th> </tr> <tr> <td> </td> <td>44回1542人</td> <td>39回1142人</td> <td>25回</td> <td>50回</td> </tr> </table>	衛生講習会	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み		44回1542人	39回1142人	25回	50回
感染症対策指導者養成研修	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み																	
	4回127人	4回122人	4回150人	4回150人																	
衛生講習会	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み																	
	44回1542人	39回1142人	25回	50回																	
<table border="1"> <tr> <th>害虫相談件数</th> <th>30年度実績</th> <th>R1年度実績</th> <th>R2年度見込み</th> <th>R3年度見込み</th> </tr> <tr> <td> </td> <td>356</td> <td>265</td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> </table>	害虫相談件数	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み		356	265	300	300	<table border="1"> <tr> <th>動物チラシ配布枚数</th> <th>30年度実績</th> <th>R1年度実績</th> <th>R2年度見込み</th> <th>R3年度見込み</th> </tr> <tr> <td> </td> <td>2000枚</td> <td>2000枚</td> <td>1000枚</td> <td>2000枚</td> </tr> </table>	動物チラシ配布枚数	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み		2000枚	2000枚	1000枚	2000枚
害虫相談件数	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み																	
	356	265	300	300																	
動物チラシ配布枚数	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み																	
	2000枚	2000枚	1000枚	2000枚																	
<table border="1"> <tr> <th>猫侵入防止機材貸出し件数</th> <th>30年度実績</th> <th>R1年度実績</th> <th>R2年度見込み</th> <th>R3年度見込み</th> </tr> <tr> <td> </td> <td>31</td> <td>18</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </table>	猫侵入防止機材貸出し件数	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み		31	18	30	30											
猫侵入防止機材貸出し件数	30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み																	
	31	18	30	30																	

【実施内容】

- 生活衛生関係施設等衛生確保事業（旧食品取扱施設衛生確保事業）
 - 食品取扱施設衛生確保

実施内容：効果的な監視指導を行うため、業態別一斉監視及び通常監視時に、検査機器を用いた拭き取り検査を適宜実施

対象：健康危害のリスクが高い社会福祉関連給食施設と弁当屋を優先的に実施

実施時期：通年
- 食中毒、感染症予防対策事業
 - 食中毒予防キャンペーン

実施内容：食中毒に対する注意喚起、食中毒予防を目的とした街頭キャンペーンを食品衛生協会と協働で実施

集客のための催し物、食品衛生クイズ、パンフレットの配布、食品衛生相談等を実施

対象：消費者

実施時期：7月～11月

- ②感染症対策指導者養成研修会
実施内容：区役所会議室での講習と実技指導（福祉保健課と共催）
対象：社会福祉関連給食施設従事者
- 3 食と暮らしの衛生に関する情報発信事業
 - ①衛生講習会
実施内容：食品取扱施設、区役所等における食品衛生及び環境衛生講習会、チラシによる情報提供
対象：消費者（区民）、営業者（市内飲食店等従事者）等
実施時期（回数）：通年（50回）
 - ②地域活動、ボランティアによる配食サービス・昼食会、こども食堂等における食中毒予防講習会
実施内容：地域行事での飲食物提供者、配食サービスやこども食堂を実施する方向けに食中毒予防講習会を実施
実施回数：6回
 - ③区民ホールでのパネル展の実施
実施内容：区民ホールにおける食品衛生、薬物対策、ハチ等衛生害虫対策についてのパネル展示
対象：来庁者
実施時期（回数）：5月、9月、11月（3回）
 - ④啓発イベントの開催
実施内容：ハチ・蚊・食中毒予防啓発のイベントを開催
実施時期：8月

- 4 衛生害虫等対策事業
対象：区民
実施時期：通年
実施内容：区役所でハチの巣の駆除器具の貸出し。その他、衛生害虫等の自主防除支援

- 5 動物適正飼育啓発・推進事業
 - ①犬や猫の適正飼育に関する啓発資料の配付
実施内容：飼い犬の登録等手続き時や猫の不妊去勢手術補助金申請時等に区役所で配付
対象：区民
実施時期：通年
 - ②動物の終生飼育に関する講演会
 - ア 講演会の開催
実施方法：磯子区獣医師会と協働で終生飼育および適正飼育の啓発を目的とした講演会を実施
対象：動物の飼い主
実施時期：11月
実施場所：区役所
 - イ 長寿犬表彰の実施
実施方法：終生飼育や適正飼育の啓発を目的に磯子区獣医師会と協働で長寿犬の飼い主に感謝状を発行するとともに講習を実施
対象：区内17歳以上の長寿犬の飼い主（約60人）
実施時期：11月
実施場所：区役所

- 6 猫の飼育問題解決支援事業
実施内容：猫の糞尿被害相談に対して、忌避装置の貸出しおよび被害軽減支援
対象：区民
実施時期：通年

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
生活衛生関係営業施設衛生確保事業	91	284	△ 193	購入済物品での対応による減
食中毒、感染症予防対策事業	31	31	0	
食と暮らしの衛生に関する情報発信事業	359	308	51	郵送経費の増
衛生害虫等対策事業	22	22	0	
動物適正飼育啓発・推進事業	107	137	△ 30	購入済物品での対応による減
猫の飼育問題解決支援事業	31	31	0	
事業費合計	641	813	△ 172	

【根拠とするデータ等】

健康福祉局作成令和元年食中毒発生状況、磯子福祉保健センター事業概要、横浜市動物愛護管理関係業務概要

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	環境衛生係
	松木 論和	齋藤 耕治	加藤 伸一